

令和4年度 飯田市議会報告・意見交換会で寄せられた意見・要望等

委員会 (分科会)	テーマ
総務委員会 (第1分科会)	近年多発する豪雨災害、30年以内に発生するとされる大規模地震に対し地域自主防災体制は対応できるか
社会文教委員会 (第2分科会)	健康寿命の延伸について
産業建設委員会 (第3分科会)	コロナ収束後を見据え、飯田への人の流れを作るためには

「取扱区分」について

- A：委員会として調査・研究（問題分析）を行うもの【219件】 B：予算要望等に関するもの【0件】
 C：早急に回答を要するもの【5件】 D：年度内に回答を行うもの【28件】
 E：市へ伝えておくべきもの【107件】 F：その他（市議会として聞き置くこととするもの）【238件】

No.	会場	分科会	分科会での意見等	担当委員会	取扱区分
1	上村	1	防災訓練の参加率（世帯）は。 ・年2回（6月9月）70%。 ・避難訓練等各家庭代表で1人参加の意識。	総務	A
2	上村	1	参加者の構成は。 ・中高年が主にて子供の参加は無い。 ・そもそも、地区に子供がいない10人程度。 ・家族全員が参加しての訓練になってない。 ・点在集落でもあり、自宅からの避難意識がない。 ・「わが家が一番安全神話」が定着してしまっている。 ・避難時までの道路の危険度が高く非難しづらい。	総務	A
3	上村	1	自主防災会の活動について（組織体制は）。 ・少子高齢化人口及び世帯数現象にて担い手不足がある。 ・実働世代は昼間地区外に働きに出ており、複数の人材不足がある。 ・まちづくり役員が担うので隔年で編成が変わり安定度がない。 ・防災に関する学習会は特に行っていない。 ・要支援者の把握は、小さな集落にて情報共有出来ている。 ・情報収集は、比較的行える。遠隔地はセンターへ直接電話等にて入電。 ・避難所は上村小学校、避難所の開設訓練は何年か前に行った。感染対策避難所開設は各集落単位一時避難場所にて昨年実施。	総務	A
4	上村	1	防災訓練以外活動は。 ・特別行っていない。昨年来AEDを各集会場に配備するようしており、設置地区は普通救急救命講習会を実施。 ・一個人の負担軽減の観点にてリーダー養成はしていない。 ・危機管理部が入り、防災マップ・支援マップは作成済、9月の地震防災訓練時に見直し確認をしている。	総務	A
5	上村	1	資機材について。 ・十分に整ってきている。必要に応じ年度計画的に配備、現在ぼんぼり型投光器を各地区導入、今年度配備済となる。 ・各地区に備蓄倉庫が配備され、地区住民が1週間以上生活できるだけの食料・飲料水は確保できている。また、中山間地の生活にて各家庭にて1週間ほどの食料備蓄はある。	総務	A
6	上村	1	地震時の家財の転倒防止等の推奨は。 ・10年ほど前には自主防災会があっせんして転倒防止器具を配ったことがあるが、それ以後は特に推奨等していない。	総務	A
7	上村	1	工夫していること。 ・情報アプリが活用できる年代層が少ないため、できるだけ防災無線にて情報提供するようにしている。	総務	A
8	上村	1	消防団との関り。 ・防災訓練時等協働して行っている。情報収集や安否確認などの巡回にも協力をいただいている。 ・消防団の対象年齢のほぼ100%が消防団員である。20数人が活動中。地区出身者で地区外在住団員の人数が増えている。 ・日赤奉仕団の分団も協働が出来ている。団員も30名ほど確保できている。	総務	A
9	上村	2	・フレイルという言葉は、高齢者には全く伝わらない。	社文	A
10	上村	2	・フレイルを「虚弱のパロメーター」としたら。	社文	A
11	上村	2	・上村の高齢化率は高いけれど、高齢者は農作業で元気。	社文	A
12	上村	2	・健康保険組合のイベントに出るとポイントが付く仕組みがあった。	社文	A
13	上村	2	・大和市のようなハンコがお年寄りには優しい。スマホはやめて。	社文	A
14	上村	2	・物をもらえるのは嬉しい。これならやる気になる。	社文	A
15	上村	2	・主催者にもポイントが付くのはいいこと。	社文	A
16	上村	3	・長野県内において住みたい町のアンケートで南箕輪があがっていますが、具体的に何が良いのか、参考にされたい。	産建	A
17	上村	3	・「下栗の里」入口の案内標識が飯田方面から来るとわかりにくい。	産業 経済部	C
18	上村	3	・しらびそ高原「天の川」手前の道路脇の山林が崩落し水道管が露出している早急に対応を。	産業 経済部	C
19	上村	3	・矢筈トンネル飯田側出口の道路わきは、ペットボトルなどのゴミが多く景観が悪い。上村側は掃除している。（喬木村であるが）	建設部	C
20	上村	3	・遠山郷のエコパーク指定を活かすためにも、下栗地区の南アルプスが一望できるビューポイントを整備してほしい。（展望台）	産業 経済部	D
21	上村	3	・しらびそ高原に向かう道路は、どのルートも脆弱である。	建設部	D

令和4年度 飯田市議会報告・意見交換会で寄せられた意見・要望等

No.	会場	分科会	分科会での意見等	担当委員会	取扱区分
22	上村	3	・しらびそ高原に向かう道路わきの草が伸び、道幅が狭くなる。	建設部	D
23	上村	3	・ジオパークに指定された南アルプスを見られる展望台の設置を希望します。はんば亭から横100m弱で行ける場所へ作ってほしい。	産業経済部	D
24	上村	1	・下栗地区は孤立地区となる可能性が高いため、旧下栗分枝跡地横の残土にて整備した広場（下栗生産者組合の広場）を緊急時のヘリポートとなるように日頃より生産者組合員により草刈等の維持管理をおこなっている。組合員が高齢化となる等にて維持管理の負担感がましている。アスファルト舗装等にて伏せて頂けないか。	総務	E
25	上村	1	・倒木による停電・通行止めが多く発生している。電線への支障木の撤去および市道への支障木の撤去をお願いしたい。	総務	E
26	上村	1	・一時避難所（集会所）および自治振興センターが危険個所の所もある。安全性の確保が必要。	総務	E
27	上村	1	・現在、センター長が地元在住にて在籍8年が経過している。中央と孤立する可能性があるため、災害時に自治振興センター機能が低下しないような人員配置をしていただきたい。	総務	E
28	南信濃	1	・自主防災マニュアルがなく地域に合ったマニュアルが欲しい。自治会単位である地区もある。	総務	A
29	南信濃	1	・防災訓練等継続できる環境を。市の職員も仕事量が多い。役員の任期も2年（1年もある）継続できる環境を。	総務	A
30	南信濃	2	コロナ禍で予定していたイベントが何もできず、外出機会と他者とのつながりを失った高齢者の認知症が進行した。	社文	A
31	南信濃	2	当初、南信濃地域ではコロナ感染しないために他地区との往来を止めた。それによって独居高齢者が子や孫に会えなくなり、認知症が進行した。なので往来節制をやめたら、今度は逆に感染が怖いと外出を嫌がる&介護士の訪問も嫌がることが増えた。それでもなるべく外出してもらおうように働きかけている。	社文	A
32	南信濃	2	川沿いを散歩する人が減った。高齢者だけでなく若者も。コロナ禍で散歩をやめて久しぶりに散歩に出たら、足の招きが悪くなっていて、今後は転ぶのが怖いと散歩しなくなった。	社文	A
33	南信濃	2	フレイル予防は歩くだけじゃない。家の周辺で野菜づくりなど加仕事をするのも十分フレイル予防。しかしコロナ禍でそれらが一気にできなくなり、独居高齢者の生活レベルが下がった。	社文	A
34	南信濃	2	遠山地区の山奥に住む独居高齢者は交通手段がない。町場に集いの場があってそこで介護予防活動をしている、そこへ行くには送迎がいる。地域が広い中で予防事業をどうやるのか課題。	社文	A
35	南信濃	2	ヘルパーの高齢化。南信濃では70代の元気な高齢者がヘルパーをしている。若い頃はついでに寄りをして担当外の高齢者も見ていたが、今は1件まわるのが精一杯。	社文	A
36	南信濃	2	介護人材の不足。飯田の社協から南信濃への転属をお願いすると、通いが大変だと辞められてしまう。南信濃はそれくらいハンデのある場所だということを知って欲しい。	社文	A
37	南信濃	2	フレイル予防のポイント制度はポイントが貯まってどこでも使えるなら良いが、特定のお店しか利用できないとなると効果はないかもしれない。	社文	A
38	南信濃	2	ラジオ体操カードのようなものなら有効かもしれない。	社文	A
39	南信濃	2	南信濃は独居高齢者が山間部に点在していて、各集落で介護予防をするには人が少ない。地域も広く町場の集いの場までの送迎がなかなかできない。家族が仕事を休んで送迎するわけにもいかない。	社文	A
40	南信濃	2	フレイル予防として歩くよりも農作業の方が良い。歩くばかりではなく、百姓など自分の好きなことで健康維持や近所の人とつながることも良いのでは。野菜づくり×ポイント付与でもおもしろいかも。	社文	A
41	南信濃	3	・遠山ブランドの定着化が必要。また飯田市自体を知らない人が都会には多くいる。外への情報発信も重要である。	産建	A
42	南信濃	3	・山里留学を受け入れたが、思ったより反応があり3組11名移住住している。今後は住宅と働く場所の確保が必要である。また定住に繋がっていくような支援も必要。	市民協働環境部	D
43	南信濃	3	・遠山郷全体をハイウェイオアシスのような場所としてやっていけたら。という考えがある。それには、温泉の復活も必要。今後も行政も一緒になって動いてほしい。	産業経済部	D
44	南信濃	1	・防災も含め市の職員の業務量が多いのではないかな。	総務	E
45	南信濃	1	・空き家対策。崩れそうな家が放置されている。（この近くにも3件ある）	総務	E
46	南信濃	1	・まちづくり委員会の役員の仕事が多すぎる。防災担当は、危機管理の後藤さんのように長いリーダーを希望する。	総務	E
47	南信濃	2	医療体制の不足。現在、診療所のやっている日が限られている。病や怪我で何かあった救急車がドクターヘリで運んでもらうしかない。移住促進するにも若い奥さんたちは医療のない所に定住はしてくれない。診療日を増やすなど、医療体制に公的な支援をしてほしい。	社文	E
48	松尾	1	自主防災会訓練の参加状況は。 ・世帯では60~70%、人数では50%。 ・八幡地区では参加人数は50%くらい。子供の参加は少ない。 ・9月に訓練行った80%以上の参加があったが登校中や仕事中にどう対応するか問題だと思う。この地区では水害の対応が重要である。黄色ハンカチは参考になった。赤いハンカチで支援求める方法など使用していきたい。 ・まちづくり委員会で訓練行っているが地区とは連絡訓練くらいで連携訓練までいってない。	総務	A
49	松尾	1	自主防災マニュアルについて。 ・地区のマニュアルは現状とは合っていない。 土砂災害の訓練はしている。自主防災は世帯1人は参加しているが家に居ない時どうするか問題。	総務	A
50	松尾	1	情報伝達・安否確認体制は出来ているか。 ・地元で災害が発生した時に対応できる様に、地域を廻って現場確認を行っている。連絡については、自主防災会や6つの班で関係している人から情報を上げてもらい、分団として対応。 ・清水地区はマニュアルを1年間かけて改訂した。役割分担も決めた。コロナ禍で今後制約される中、情報伝達、安否確認の訓練を行いたいと考えている。 ・自主防災は役員が大事。又、有事の時本部役員が陣頭指揮がとれるか問題。 どこの場所に集まれば良いか、どこに資材があるか自分の問題としてとらえてほしい。 ・だれがリーダーとなるか集まってみないとわからない。 支援マップについて 要介護者の情報が民生委員のもっている情報と、自主防災の情報がちがう。有事の際、本当に役立つ連絡先のわかるものにするべきだ。 ・災害時は、各地の自治振興センターの職員が中心となるが、人手が足りなくなる。その場合を想定して全市の職員が又、全部局の職員が対応できる体制をつくってほしい。 →パワーアップの中で地域に廻せる人を検討する必要がある。又、パワーアップの為に支援する方向で考えさせて頂く。	総務	A
51	松尾	2	フレイルについて、自分で自覚するのか、医師から言われるものなのか、フレイルをどのように認識すれば良いのか。	社文	A

令和4年度 飯田市議会報告・意見交換会で寄せられた意見・要望等

No.	会場	分科会	分科会での意見等	担当委員会	取扱区分
52	松尾	2	健康には2つの側面がある ① 体の健康…運動機能の低下を防ぐこと、通所Bの取り組み、地元のホットアップルの活用などがある ② 精神面の健康…コロナ禍で様々な活動が無くなった、今まで元気だった方で施設へ行ってしまった方も多い、人と人との係わりが精神衛生面で大事である。 また、人と集まり情報交換することで精神面での効果がある（例として、松尾の「サンロード」集いの場となっていた）	社文	A
53	松尾	2	・フレイルのポイント制はとても良いと思います。	社文	A
54	松尾	2	・コロナで人との面接触が少なくなった高齢者は話し相手を欲しがっている。会うと話が長くなるので、気分転換になると思う。	社文	A
55	松尾	2	・フレイル予防の活動について・・・子ども達とのふれあい、授業中の活動で出来る事がないか、短大生や高校生・小・中学生とのかかわりなど。	社文	A
56	松尾	3	・天竜川は最近、白濁などで鮎が住み着かない。 →天竜川のことは国に伝える。	建設部	D
57	松尾	3	・東京で山をやってきた。遠山郷は魅力。かぐらの湯、食も。三遠南信道開通を見据えるのと力を入れるとよい。	産建	E
58	松尾	3	飯田高校の生徒とタウンミーティングを行った。3割の生徒は一旦飯田を離れても戻ってきたいという。 ・天竜峡、遠山郷はこれからも注目を集めるだろうが、情報発信が大事。自分が住んでいないところのことは（案外と）知らない。	産建	E
59	県	1	県地区での役員体制はどうか。 ・役員体制は、概ね2年で交代（総入れ替えとなっている）しており、職務継承が難しい。まちづくりの会長職は、各区长から選任されてもいいかと考えるが、各地区は規約に沿った選任となるかと思う。	総務	A
60	県	1	被害想定をどう考え準備しているか。 ・36災害での被災経験から、西県区ではボート購入をしたが、実際の訓練は出来てなく今後訓練の方法など検討していきたい。 ・レッドゾーンへ居住の方の避難を助ける行為などは、素人では難しいと考えており、避難所の開設、受入れが優先と考える。	総務	A
61	県	1	自主防災マニュアルの作成はどうか。 ・災害に対応できる組織図を始め、避難誘導、給食給水、どんな活動をしないではいけないかをマニュアル化している。日赤奉仕団の方には炊き出し訓練をお願いし、防災倉庫には何がどの位あるのか、実態把握が目的である。現状は見直しの時期に来ており、今後進めて行く。	総務	A
62	県	1	防災知識普及のための学習会は行っているか。 ・最近はDVDを拝聴して学習している。	総務	A
63	県	1	自主防災会で課題と考えることは。 ・組合未加入者への情報伝達は出来ない為、飯田市から各戸へ郵送される広報などが頼りである。 ・組合への加入促進を地区内家庭訪問にて話すか、災害時に避難所では「組合未加入者へも、おにぎりなど支給はされるんでしょ」という意見に出会い複雑な気持ちになったこともある。 ・日頃は組合未加入者へは声を掛けていないが、災害時には何かしなくてはいけないと考える。現実問題として、組合加入者でも日赤への協力金など、1/3程度の方しかご協力を頂けていない。加入促進は都度行っているが、実態は厳しく未加入者への声掛けは辛い。 ・上山区は、約1,000世帯（2,500人程度）であり、組合員は600～700世帯である。よって安否確認はある程度把握が可能。但し、未加入者は数百人程度居る為、本当にこれが防災訓練として良いのか疑問となる。自治会組織と自主防災組織は似たようだが違うと考える、見直す必要がある。自治会組織と自主防災組織を区別し根本的に見直さないと組合未加入者への支援が行き届かない。 ・全世帯が組合加入出来る体制づくりをお願いしたい。そうすれば、自治会組織も成り立っていくし、未加入者の声を拾う事が出来る。昨年の豪雨時に、組合未加入者から直接お問合せを頂き切石会館へ一緒に避難した経緯がある。	総務	A
64	県	1	日赤奉仕団と地区の方々との連携は。 ・分団長は総務委員として関り、副分団長の2人は業務委員としてボランティア班へ所属し避難所運営を支援している。日赤奉仕団も以前は、10年～20年継続される方もあったが、現在は各組合から順番で担当している。1年～2年で交代がされてしまい、コロナ禍で炊き出しなど講習も儘ならず人が育たない実態がある。	総務	A

令和4年度 飯田市議会報告・意見交換会で寄せられた意見・要望等

No.	会場	分科会	分科会での意見等	担当委員会	取扱区分
65	鼎	1	<p>自主防災会の訓練状況について伺いたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員中心の訓練となってしまうがちである。 ・コロナで実施出来てなく、本来の実践に役立つか不安な状況である。コロナ禍が多少でも訓練をやらなくては防災意識は身に付かない。 ・避難訓練には住民の殆どが参加。但し、参加者は大人とお年寄りとなっているのが実情。防災訓練は1年1度実施し、自主防災会の役員が中心で行っている。 ・防災訓練は年1回実施、今年度は9月4日に切石地区として独自開催をし、飯田市危機管理室作成のYouTubeをDVDへ変換頂いた内容を区防災役員中心に視聴した。毎年の訓練を継続して行う事で皆の意識を離さないよう心掛けています。いざという時に役立つように訓練を実施した。 ・避難訓練と安否確認を実施している。7、8年前まで消火活動を実施していた。但し、最近住宅密集により消火活動で出る粉塵の掃除がたいへんであり出来ていない。今後は場所を考慮した消火器を使った訓練が必要と考える。 ・コロナで3年防災訓練は出来ていない。やはり訓練で出来ないことは本番では決して出来ない為、訓練の必要性は認識している。 ・参加者は役員中心だが年ごとに役員は変更となる為、体験する人を増やす事が大事と考える。 ・本年度は役員のみで防災訓練を実施。安否確認など組長が町内会長を回って状況把握に努める、という方法を取った。西鼎では36災害で被害が出た為、ボートを購入し今後の訓練に役立てていく。 ・本格的な訓練は出来ていない。安否確認など従来型という組み合わせで実施していることになる。但し、訓練参加は役員のみである。防災訓練開催は、年1回。 ・東鼎は地域が小さい為、参加率は高い。概ね9割の参加となるが、高齢者中心で中高生は参加できていない。年1回実施し、コロナ前は全区民で土嚢づくり、土嚢で川をせき止めての消火訓練など具体的な訓練を実施していた。 ・コロナで3年訓練は出来ていない。役員が集まり勉強会は実施している。下山区自主防災組織はあるが、<u>実態は班長・組長で名簿を出す程度となっている。現実的に災害時の助けとなるのかを根本的に見直すつもりでいる。</u> <p>避難所の開設に際し飯田市の対応を確認させて頂きたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① どこが避難場所、何人収容可能なのか、何世帯収容可能なのか、分からない ② 避難所へは地域及び地区を超えて、市民はどこでも使用できるのか ③ 災害発生時に避難者が集中した場合、受入れ者の優先順位をどう考えれば良いのか <p>・私たちは、そういう情報を知らない為教えて欲しい。避難施設への避難できる人数といっても限られる。災害発生時の現実即した防災知識が必要であり訓練をやらなくてはいけないと考える。机上の議論ではなく、より具体的な情報を聞かせて欲しい。</p>	総務	A
66	鼎	1	<p>まちづくり委員会、自主防災会、日赤奉仕団、消防団の連携は。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織とまちづくりの組織は基本的に別である。但し、自主防災組織へまちづくりのメンバーが参画しなければ機能しないのも事実である。まちづくり委員会執行部(各区分)が自主防災組織を担っており、実態はイコールである。課題は、やはり組合未加入である。加入率が鼎全体で6割程度未加入者4割になる。防災活動の稼働率低迷の原因もここにある。市議会へその旨打ち上げているが、市議会見解として組合未加入課題は自治会の課題と回答も頂き、理解はしている。しかし、共同自治を行っている立場としては、市議会も行政も一体となってこの課題へ取り組むべきと考える。共に苦しむ課題との認識に立って欲しい。 ・自主防災会と自治会の役員はあて職として担当して頂いている。2年毎に人選といっても現実的ではない。更に自主防災会と自治会を別組織にするといっても役員体制の担い手不足もあり、回らない現実がある。持続可能な自治組織ではなくなってしまう。 →自主防災会であり、自分で自分を守ることが大事になる。その次に共助がある。組織の分離も必要かと考えるが、またそれを担うリーダー的な方が居て組織を守れば良い。そういう方の研修など行政で実施している。山本地区では、長く自主防災会役員を続けられている方もいると聞く。明日、山本地区で議会報告意見交換会があり、その秘訣など伺い鼎の皆さんへお返ししたい。市議会としても、組合未加入問題は、自治会のみ課題とは思っていない。行政へ働きかけると共に条例などの検討もあるが、強制力を持たない為なかなか難しい。また検討していく。 	総務	A
67	鼎	1	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会主催、まちづくり委員会共催で今回は開催できた。一定の成果があったと感じた。本日の課題を共有させて頂く。 ① 避難所の定義・運営状況が分かる明確なモノを出して頂きたい。どこの避難所に何人収容可能で、何日間分の食料など確保されているのかなど、不安解消のため回答頂きたい。 ② 自主防災組織の在り方は、組合未加入問題に関わる事であり、市議会としてもご協力を頂きたい。 ③ 防災無線について、現状で不十分なところを補完するシステムを考えて頂きたい。 ④ 3年間防災訓練が出来ていない、組織的にも役員も変わっており今後の運営が困難となる事を予想している。今日このようなテーマ選定頂いた事で、一定の前進を見たと感じる。防災訓練含め自主防災の指導をお願いします。 ⑤ 今回の議会報告意見交換会はコロナ禍でもあり、分散開催となった。通例では松尾と鼎の合同会場で行うが、H30年から参加するが、松尾へ行き合同会場出席後鼎へ戻り分会を行うのも大変である。本来の目的を考えて頂き、参加し易い形式で今後は実施頂きたい。今回のように分散型は賛成である。またコロナ後の防災訓練他自主防災のあり方など、まちづくり委員会としても見直しを考えている。市議会としても、見直しに掛かる支援などご検討をお願いします。 	総務	A
68	鼎	2	<p>「フレイル」という表現は参加者全員が伝わらないと考えている。</p>	社文	A
69	鼎	2	<p>健康の為に何かしている人 8人中4人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥さんの言うことを聞いて食事に気をつけている。 ・朝、小学生の登校に付き添って、5,000歩ほど歩いている。 ・健康体操に参加している。 	社文	A
70	鼎	2	<p>コロナ等で地域での関わりはどうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な行事が中止で外に出にくくなっている。何かをやっている人とやらない人の差が大きくなっているのでは。 ・上山ふれあいサロンは月2回、区民センターのポーチで世間話をし、帰りにはお菓子やサバ缶を渡すなど、とにかく家から出てきてもらうようにしているが、来る人は決まっている。 ・コロナ禍で、認知症が進んだり亡くなる人もでている。 ・ふれあいサロンは、転倒防止教室を月2回行い、高齢者のふれあいの場になっている。 ・体操と、おしゃべりやゲームをする場など2種類の交流の場を用意している。仲間同士の声掛けや、民生児童委員の方も協力してくれている。 	社文	A

令和4年度 飯田市議会報告・意見交換会で寄せられた意見・要望等

No.	会場	分科会	分科会での意見等	担当委員会	取扱区分
71	鼎	2	地域での課題をどう捉えているか ・集まる機会を作っても、長い距離を歩いての移動が困難な人が増えており、足の確保、交通手段の問題がある。 ・民生児童委員の補助的な役割を作れないか。民生児童委員のなり手不足の問題もある。 ・「鼎る会」では、サポーター4～5人で手分けして車を出して、メンバー全員が集まっている。	社文	A
72	鼎	2	ポイントなどのインセンティブについて ・やらないよりやった方がいい。サバ缶やソーセージなどのちょっとした物でも渡せば喜ばれている。 ・保健師の方からの用紙にチェックして郵送すると、何かもらえるということをやっている。まだ品物は送られてこないが。 ・「鼎る会」では、クリスマスやお正月をはじめ、季節ごとに何かお渡しするなど、スタッフが工夫して色々取り組んでいる。話をするのがみんなうれしそう。 ・健康寿命を延ばすにはどうするか、理想の姿は何か。静岡県のある市では、お祭りに車いすの方が多く集まっていた。道路整備が進んでいるのか、豊丘マルシェは車いすで行きやすい。	社文	A
73	鼎	2	・あまりにも多い業務（会議等を含めて）で、この先、役員の受け手が無いのではと思う。実際、受けてくれなくて私は10年近く以上続けている。役員も高齢になった。	社文	A
74	鼎	1	消防団OBや防災士資格保有者などで、地域をけん引する方はいるか。 ・消防団OBには防災士を取られて地域へ活かしている方もいると聞く。 →地区では実際に消防団関係者が地域防災をけん引している事例はあるか確認して頂き、自主防災の力となって頂きたい。	危機管理部	D
75	鼎	1	アンケート回答では、鼎として防災士資格取得時に祝い金を付与するとあったが、具体的な検討内容を聞かせて下さい。 ・地域自主防災へのきっかけ作りとして、祝い金制度を設けるよう提案している。飯田市としても支援を検討頂きたい。 →下山区長からもありましたが、ハザードマップ他記載の防災避難所について、その収容可能人数など詳細は記載されていない。	総務	E
76	鼎	1	・防災行政無線のデジタル化は分かるが、聞こえない所もある。危機管理課へ各家庭での取り付けが出来ないか問い合わせたが、ケーブルTVでの視聴を推奨された。ケーブルTVが無い家庭はどうするのかだが、購入できる様式も含め検討頂きたい。 →聞こえない所があることにに対し検証するように、行政へ提言をしていく。	総務	E
77	鼎	1	・下山区長が質問した避難所の件は私も知りたいことでした。以前防災訓練の時に避難所開設のシュミレーションをしましたでしたが収容量、入れる人の条件等は明確にあると助かります。	総務	E
78	鼎	1	・小中学校には防災倉庫があるが、各区には無い。自主防災の観点から各地区に防災倉庫を設置し防災倉庫の中身を充実させて頂きたい。災害時に小中学校へ移動するリスク低減などにもなる。	総務	E
79	鼎	1	・9月4日飯田市防災訓練中止は何故か。コロナだろうが何だろうが震災は来る。何もやらないのはいかなものか。 →せめて放送ぐらい流しても良いのでは、との声も聞く。飯田市危機管理課へ伝えて行く。	総務	E
80	鼎	2	・重いずに優しい飯田市であると嬉しいです。	社文	E
81	鼎	3	青パパイアを育てて、今年で3年目。認知度が低く、需要が少ない、JA通じて出荷しているが、いい値が付かないので来年どうしようか考えている。栄養素が高く、料理への活用は沢山あるため、今年レシピを作った。飯田下伊那だと霜が来ると木が枯れてしまい、毎年植えなおしをしないといけない。手間は草刈りのみ。認知度や需要をあげ、特産物のひとつとしていくために、よい方法はないか。	産建	E
82	鼎	3	青パパイアが市田柿に続けるような産業になればいいが、補助はあるが苗代と肥料がすごい高い。1個800円とか、1000円で売れるようになれば、来年にも繋がる。今は全部商品にできてプラスマイナスゼロにしかない。	産建	E
83	鼎	3	ホワイトアスパラを東京のホテルへ出荷している。自分で売ってるわけじゃなく、業者はJA通じて売ってるんだけど、売り先が固定されると作る方も安心して作れる。梅も漬物や梅酒と一緒に発信していけるのではないか。	産建	E
84	鼎	3	根羽村は女性の増加率が全国一番ということで、人口減少にも歯止めがかかったと日経新聞の記事があった。飯田市の方がはるかに便利だと思うがなぜそれが出来ないか。根羽村自体がかなり努力した結果だと思うが、飯田市も対策をもっと見える化し、具体的な発信してもらいたい。	産建	E
85	鼎	3	今は観光課もしっかり応援してくれているが、長野市は獅子舞フェスティバルの運営を市役所で行っている。全面的にやってくれというわけでは無いが、そのような力添えを頂けないかと思っている。	産建	E
86	鼎	3	飯田市から観える四季折々の景色をライブ中継し、都会に発信する。リニアが開通すれば、都会から景観目的で見に来てもらえるのではないか。地域で盛り上がりが出て出来るようなものはないか、お力添えや応援していただきたい。	産建	E
87	山本	1	地区の状況や訓練の様子はどうか。 ・地区により差があるが、危機管理発信のマニュアルに沿って行っている。 ※15年前に、地区独自の防災マニュアルを作成していたが、実態と合わなくなり「生きた」マニュアルを再度作成。各区民へ配布、活用している。 ・新マニュアルでの学習 ※一部地域では関東大震災後独自マニュアルを作成し・水の確保・井戸の発電機の準備・浄化水槽の蓋を取りトイレにしての訓練など本格的な訓練を行っている。 ・地区に新しい方はいない。古くからの方同士、まとまっている。 ・組合未加入世帯へも新マニュアルを届け、加入を働きかけ思案中。※組合未加入問題は重要。 ・絆は深い若い衆がいないため災害時に動ける人いないのが心配	総務	A
88	山本	2	・去年からフレイルという言葉聞くようになった。バランス良く食べて、食べたものに印を付けてフレイル予防につなげる取り組みがあると聞いたので、飯田市でも取り入れてほしい。	社文	A
89	山本	2	・フレイル予防を認知させる取り組みが必要。老人ではないと思っている人を集める方策が必要。特に男性が。	社文	A
90	山本	2	・一日話しをして、一緒にご飯も食べて過ごすことを楽しみにしているお年寄りが通うNPOの施設で、事務をする人がいなくなり、お年寄りのより所が存続できなくなることが心配。	社文	A
91	山本	2	・乗合タクシーが使いつらい。	社文	A
92	山本	3	・子育て世代の移住定住には保育園の充実が不可欠。山本地区にも私立保育園はあるが公立保育園で時間外保育の対応を。長時間保育の実施をかならず実行願います。	健康福祉部	C
93	山本	2	・子育て応援アプリにはどんな相談が寄せられているのか。	健康福祉部	D

令和4年度 飯田市議会報告・意見交換会で寄せられた意見・要望等

No.	会場	分科会	分科会での意見等	担当委員会	取扱区分
94	山本	3	・地域おこし協力隊を、移住定住にもう少し有効に利用できないか。	市民協働環境部	D
95	山本	1	リーダーについて。 ・6年前から消防団08が「防災支援班」として自主防に残り災害時での実働部隊として活動している。※活動に対する責任問題や補償・資金援助必要	総務	E
96	山本	1	・三島市の「黄色いハンカチ」作戦など良い事例を横展開してほしい。	総務	E
97	山本	1	・大震災時、山本は三遠南信道を使い支援ができるので備蓄や支援物資を多く備えておくのもよい。	総務	E
98	山本	2	・子育て応援アプリをせっかくなつくつったのだから、スピード感をもってアップデートしてほしい。	社文	E
99	山本	2	・認知症の人が多くなり、ふれあいサロンの存続危ぶまれている。	社文	E
100	山本	2	・進学で、子どもが中学から飯田市を出るケースが目立つようになっている。ただ単に子どもの問題ではないと思う。	社文	E
101	山本	3	・子育て世代の移住定住には保育園の充実が不可欠。山本地区にも私立保育園はあるが公立保育園で未満児の対応を。	産建	E
102	山本	3	・飯田市への移住も大切だが、リニア関連で移住する方が近隣町村に移住することが残念だ。行政として何とかできないか。	産建	E
103	山本	3	・市内どの地区にも、普段気の付かない良い点がたくさんある。住みやすい点を掘り起こし、子育て世代にもっとPRしては。	産建	E
104	山本	3	・移住定住に力を入れている市町村がほとんどだが、移住する人数は一定なので、もっと大きな視点で取り組むべきでは。	産建	E
105	山本	3	・上記を踏まえて、どんな部分が生活しやすい(過ごし易い)のかを、突き詰める必要があるのでは。	産建	E
106	伊賀良	1	防災訓練参加者構成。 ・世帯代表者が参加、高齢者と子供たちの参加は極少数。 ・訓練のための訓練となっている。 ・避難所開設訓練にて笹竹を使ったパーテーション作りを体験したが、とても現実的でないと感じた。 ・訓練目的が明確でない。火災なのか、水害なのか、地震なのか、目的によって対応は違う。目的別に示してほしい。 ・被災時に市民が一番行政に求めるものは、社会インフラの早期回復(上下水道・電力)であり、その対応がしっかりしているのか疑問がある。 ・避難所にて未加入世帯だからと言って受け入れ拒否はできない。未加入世帯への周知については地区では限界がある。行政にて何か工夫してほしい。	総務	A
107	伊賀良	1	自主防災体制について。 ・伊賀良地区としては、本部を市職員とまちづくり正副協議会長および安全委員にて構成し情報を受けるのみ機能しかない。区長以下は各地区の活動に専念してもらおう。 ・各地区にて実施計画から実働まで個々に行ってもらっている。 ・今まで本部立ち上げ機能訓練等の実働訓練をコロナにて行っていない。 ・訓練の反省会は各地区の安全委員にて行っている。各地区の情報共有はその時にできている。	総務	A
108	伊賀良	1	避難時の要支援者の把握について。 ・助け合いマップの作製はできているが組合加入者のみが対象といっている。 ・高齢の独居理由にて脱退した方、新規に居住した方等の把握は今の自治会体制の中では限界がある。行政および議会の方々に自治会未加入者の取り扱いについては考えて頂きたい。	総務	A
109	伊賀良	1	被害想定について。 ・伊賀良地区の中央道から上は、地震発災時に山津波にて土砂災害の被害想定地域となっている。そのエリア内に指定避難場所の小中学校があり、また、伊賀良の本部、北方・大瀬木のコミュニティセンター集会場があるが、行政は安全性の担保が出来るのか、避難所としての不安がある。以前から行政には伝えてあるのですが明確な説明がなされていない。	総務	A
110	伊賀良	1	自主防災会のリーダー養成や人材育成について。 ・地域の役員任期が2年間に交代していく中では育成は難しい。 ・地区によってはリーダーを作っているところもあるが、北方地区では難しい。防災マニュアルを独自に作り(36ページに及ぶ冊子)を配布して周知徹底を図るが最大手段となっている。 ・消防署および消防団の退官者で防災士の資格のある方を対象に行政の危機管理部が主導で対象者に対しリーダー養成をして地域に配置するような講座をしてもらいたい。	総務	A
111	伊賀良	2	・開始早々「フレイルって何ですか?」という質問がでる。やはり認知度は低いことがわかる。	社文	A
112	伊賀良	2	・コロナ禍で独居高齢者向けの茶話会ができない。品物だけ配布して顔を見てくれるだけ。	社文	A
113	伊賀良	2	・いきいき教室は伊賀良全地区ではやってない。徒歩で会場へ行けない人は、まちづくり委員会で補助を出してタクシーで送迎をしている。送迎について市からの補助はない。	社文	A
114	伊賀良	2	・三尋石団地は坂道の上の方にある。集いの場は下の方にある。集いの場へ通いたくても、往路は下りなので良いが、帰りが上り坂で大変。そうすると通いの場の必要性はわかっているが、行く気になれない。	社文	A
115	伊賀良	2	・フレイルデータについて。飯田市の市民アンケート結果をみると、地域格差が大きい。今後地域でどう対応して結果に結び付けたら良いか、もっと研究して欲しい。	社文	A
116	伊賀良	2	・ポイント制度について。ポイントは気にはするけど、スマホなどでやるのは苦手。スマホのアプリを使うのはわからないことが多い。使い方をちゃんと教えてもらえればなんとかなるかもしれない。スマホよりラジオ体操カードみたいな物の方が良いかも。	社文	A
117	伊賀良	2	・ポイント制度の意図はわかるが、しかけだけ考えても仕方ない。なぜ集いの場に来てくれないのか、なぜ運動をしないのか、問題の原因、人の心の根本的なところにアプローチしてない。真の原因は何かを追求してない。人の感情や心の問題はむずかしい。	社文	A
118	伊賀良	2	・集いの場に来ればポイントをもらえるとしても、集いの場へ行くための方法がない。徒歩がむずかしい人、交通手段のない人はどうするのか。送迎の問題をクリアする方が先。	社文	A
119	伊賀良	2	・腰・膝に問題があり長時間歩くことができない。家の中でスクワットするなど、工夫している。	社文	A
120	伊賀良	2	・介護施設に勤めているが、入居者の老人たちは、運動機会があってもやる人とやらない人がいる。気持ちとか心の問題という実感がある。	社文	A
121	伊賀良	1	・各地区の防災倉庫での非常食備蓄品に対し防災備品の1/2補助の対象項目にはなっていない。地区として世帯人口が多く地区防災倉庫での備蓄食料が全く無い現状にあるので、補助対象品目にならないものか。	総務	E
122	伊賀良	1	・7月の河川一斉清掃時に一級河川桶川での清掃活動を対象としているが、土砂や雑草が堆積していて作業できる状態にない。土木部を通じて国県の河川管理事務所等に河川改修河床整備をお願いしていただきたい。	総務	E
123	伊賀良	1	・危機管理が本当に災害を防止(減災)していくのか、本気度が考えさせられる。口先だけはやめてほしい。	総務	E

令和4年度 飯田市議会報告・意見交換会で寄せられた意見・要望等

No.	会場	分科会	分科会での意見等	担当委員会	取扱区分
124	伊賀良	2	・市から委託される健康福祉事業とは別に社協から委託される介護予防通所型Bサービス事業。似たような事業が重複している。どちらもやれとまちづくりに言われても、各地区ではやりきれない。整理をしてまとめて欲しい。	社文	E
125	伊賀良	3	・沢城湖の指定管理を受けたが、市の支援も継続して欲しい。	産建	E
126	座光寺	1	問1① ・自主防災会80%以上の出席。下部組織も出席している。 ・幅広い年代で参加している。 ・年二回実施(5月、9月)	総務	A
127	座光寺	1	問2① ・毎年見直している。 ・ファーストミッションBOXは本部にはある。	総務	A
128	座光寺	1	問2② ・5区あるが、すべての区にマニュアルがあるわけではない。5区にはファーストミッションBOXも独自で用意してある。 ・1.4区には無い。	総務	A
129	座光寺	1	問2③ ・想定はしていない。	総務	A
130	座光寺	1	問2④ ・0% ハザードマップ作成時に行っただけ。参加者が少ない。	総務	A
131	座光寺	1	問2⑤ ・未加入者を含め、把握している。 ・民生委員も一緒に安否確認を行っている。	総務	A
132	座光寺	1	問2⑥ ・区← 地区← 組合 災害 8時am→ 安否確認8:30am(一次) → 9:00am(二次確認)	総務	A
133	座光寺	1	問2⑦ ・簡易トイレ、マニュアルのみで、コロナ禍により実際の訓練はできていない。 ・二年間コロナ禍にて実際の訓練ができていない。それ以前は行ってきた。 ・日赤も炊き出しをしている。コロナ禍にて二年訓練ができていない。	総務	A
134	座光寺	1	問3。 ・参加者は自治会の方々。ハザードマップは各戸にある。 ・環境衛生委員会副委員長松村様 本部の支えあいマップを民生委員により。 ・参加者は、コロナ禍にて各戸1名としている。集合場所は、各地区で決まっている。	総務	A
135	座光寺	1	問4。 ・子どもたちが参加。イベントに参加し、スタンプを10個集めると地元で使える500円のチケットとなる。出資は自治会から捻出している。	総務	A
136	座光寺	1	問4④。 ・実際子ども、高齢者は訓練に参加はできない(出てこれない)。 ・いっとき避難所には来ない。安全な家にいる。 ・アプリで安否確認(実際にひと(役員)が危険を冒して行動しなくてよい) ・一方、大人(健康者)がやるべきことを住民に伝え、参加をお願いしている。	総務	A
137	座光寺	1	問11。 ・現在団4名は連携している。	総務	A
138	座光寺	2	・フレイルを知っている人:参加者20人中9人。	社文	A
139	座光寺	2	・男性向けの料理教室(事業者が社協なのか市なのかは未確認)でフレイル予防を知った。イレブンチェックもやった。料理教室で食事や食材から健康について学んだことがある。	社文	A
140	座光寺	2	・歩数計は通常の歩数はカウントするが、運動中はスマホを持っていないので歩数をカウントしない。そこがスマホ歩数計の困るところ。	社文	A
141	座光寺	2	・いきいき広場という65歳以上の集いの場をやっているが、高齢者は冬場の寒い時には参加しにくい。ポイント制度はそういう人に対して参加の動機になるかもしれない。	社文	A
142	座光寺	2	・今すぐなら、カード&ゴム印のアナログ方式でも良いが、この先スマホの使える高齢者が増えるので、先を見据えてスマホへ移行する方が良いのでは。	社文	A
143	座光寺	2	・参加者だけでなく、事業の運営側・ボランティアにもポイントは付いた方が良い。	社文	A
144	座光寺	2	・現在ポイント制度を導入するかしないかを検討中。どんな人にどれくらいの量をつけるかという話はこの先考えれば良い。	社文	A
145	座光寺	2	・各個人やその家族でできて、フレイルが進行しない方法を考える、そのための意見交換する場だと思って来た。自宅にいる人たちが、自分の健康に対して何をできるか。イレブンチェックも80歳過ぎの高齢者にはできない内容だと思う。各家庭で簡単にできる運動を市で考える必要はないか。足踏み運動とか。握力をつける⇒包丁を持つ、歯磨きするなど、誰もができる方法を考えた方が良い。そういうことを考える場だと思って来た。公民館や個人でやっている介護予防のことを意見交換する場だと思って来た。	社文	A
146	座光寺	2	・高森町は、各家庭にダンベルを配布。まちぐるみでフレイル予防をやっている。飯田市は人口が多いので同じことをするのは無理だろう。高齢者にゴムバンドを配布しているところもある。わざわざ配布しなくてもどの家庭にもあるタオルでも良い。気軽に簡単にできる運動を広報いいだに掲載したり、「フレイル予防をしましょう」という呼びかけをした方が良い。	社文	A
147	座光寺	2	・地域の独居高齢者は話す機会がない⇒嚥下機能が弱る。	社文	A
148	座光寺	2	・地域の独居高齢者はゴミ捨てのままならない。孤立させないように、近所の人が声がけしてつながりのある地域になることが大事。	社文	A
149	座光寺	2	・どんなことも気づいた人が支援して手助けするようなまちづくりをして欲しい。なにかをわざわざするというよりも、気持ちをつなげるような活動や地域づくりを推進する方が大切。	社文	A
150	座光寺	2	・人に迷惑をかけたくないと、支援を拒む人もいる。助け合える、支え合えるまちづくりや雰囲気づくりが大切。	社文	A
151	座光寺	2	・フレイル予防の定義を広げることも必要ではないか。コロナによるマスク生活で嚙む力が弱る。オーラルのフレイル予防に取組む必要性もある。握力だけを鍛えるなど部分的に鍛えるのではなく、身体全体の予防の底上げを。軽いあくび運動など。	社文	A
152	座光寺	2	・フレイル予防は高齢者だけでなく、全年齢で考える必要がある。不登校生徒も自宅で閉じこもってれば、フレイル予備軍。若年層からフレイル予防を意識することが大切。	社文	A
153	座光寺	2	・家族で取り組む事ができる健康法を考えてほしい。	社文	A
154	座光寺	2	・人と人とのつながり、声かけが一番大切だと思います。毎朝、歩いている方達、認知症の予防にご夫婦で歩いている方達がいます。その人達に声かけ、はげましたりする事も大切だと思います。	社文	A

令和4年度 飯田市議会報告・意見交換会で寄せられた意見・要望等

No.	会場	分科会	分科会での意見等	担当委員会	取扱区分
155	座光寺	2	・時間が限られているので発言できませんでしたが、体力のこともですが、高齢者は耳の聞こえと認知症のかかりが高いと思われるので、耳の検査も大切だと思われます。	社文	A
156	座光寺	3	・エス・バードで、CO2排出抑制事業だけではなく、eバイクの開発は出来ないか。並列の2人乗り。工業課に話したが、当初取り合ってくれなかった。 →実態はどうだったのか。 ・はじめ県の機関に話したが駄目で、エスパードに行った。若手職員が話は聞いてくれた。最終的に製造者責任の問題で没となった。 →預かり確認する。	産業経済部	D
157	座光寺	1	・3.11を例に、釜石の奇跡。石巻の悲劇。東南海地震もだが、糸静構造線の危機管理も必要と思う。ハザードマップのレットゾーンイエローゾーンにある避難施設を放置したままでよいのか気になる。	総務	E
158	座光寺	3	・恒川官衙遺跡には不満がある。自治会が（生かし方を）小学生に聞くと、テーマパークにしてほしいと。国の方針は保全に力を入れている。しかし、活用と経営が大事だと思う。国の補助金頼りはだめ。上郷考古博物館は経営的に大変だと聞く。ではどうするか。VRを導入してはどうか。鎌倉市では既に取り組んでいると聞く。そこまで検討してほしい。朝倉暮改は民間では当たり前。是非進めてほしい。	産建	E
159	座光寺	3	・農振農用地内の農地が荒れ放題だ。守るのは大事だが、本当に守っているのか。	産建	E
160	座光寺	3	・結びスクエア発のバスで飯田下伊那地域を回る、映像でお祭りの内容を紹介する特集を流すという企画はどうか。	産建	E
161	座光寺	3	・座光寺地区の人口動態をみると、将来は一人の人が一人を支えるようになる。高森町では若者がまちづくりの事業を展開するのに補助金を出している。御朱印帳めぐりを企画してはどうか。古い農家を巡る企画はどうか。点を線とつなぐ企画。飯田市ブランド推進課発行の「IDA」は参考になる。	産建	E
162	座光寺	3	・なぜ高森町と飯田市では農振除外に要する期間が違うのか。後継者の若者が家を建てられるようにするためにも、もう少し早くから取り組むべきだ。	産建	E
163	座光寺	3	・農業委員会は、飯田市と高森町ではシステムが違う。飯田市は地元の人だけではなく他地域の人も含めて検討している。県の職員も、飯田市の農業委員会は柔軟性が低いと言っている。	産建	E
164	座光寺	3	・飯田市と飯山市内の会社は、給料が安いと聞く。若い人が少ない。税収も少ない。若い人への支援策、子どもの給食費の無料化をすすめるなどの金銭的な支援等を進めるべきだ。	産建	E
165	座光寺	3	・提案として、大堤のため池を埋め立て用地を確保する。大堤団地の空き家対策として、リノベーションしてIターン者に利用してもらおうことはどうか。	産建	E
166	座光寺	3	・市田柿の皮は毎年700tが廃棄される。焼酎、ワイン、醸造酒に出来ないか。農家から出すと産廃になる。醸造を喜久水などの会社に任せると農家の取り分が減ってしまう。	産建	E
167	座光寺	3	・リニア開通を見越して、飯田に居を構えて都会に通勤する人への補助やテレワークを考えている人への補助を飯田市は考えているか。 →そこまでは考えていない。参考とさせていただきます。	産建	E
168	座光寺	3	・市職員のレベル向上。	産建	E
169	上郷	1	・例年、各地区安否確認、各地区被害状況、役員16名が本部を作り各地区より報告をもらう。避難所開設訓練（今年度計画したがコロナで中止）災害地区への支援運搬、協力隊員がいるので土砂災害の確認、救急。	総務	A
170	上郷	1	・各委員会の委員長が班長となり委員が活動員となる。委員長任期2年、活動班1年任期、各班に分担があり活動する。避難所に仮設トイレ、避難所の開設、救護炊事、参加者は各班長が各組合の集合場所を決めている。そこで安否確認を行い総務班が取りまとめる。50%以下の参加率。	総務	A
171	上郷	1	・新しい地区であり自主防災の役員の担い手がいない。飯田市の防災訓練に合わせて行っているが、役員は地区本部として常任役員が行う。下黒田東内3地区に自主防災会がありそこでまとまったものを報告している。3地区とも役員の不足がある。毎年役員が代わっていきどうなるか心配である。組合加入が少なく（40%）6割が未加入であり訓練が難しい。	総務	A
172	上郷	1	・豪雨災害 9月の防災訓練、安否確認 他に単独でということはない。アパートが多く毎月5・6人転入転出があり。レッドゾーンがあり避難所を開設しても避難所に来る人はいない。2世帯住宅で親しか組合に入っていないsなんかも親のみ。訓練はするがそれを生かせるかどうか？	総務	A
173	上郷	1	防災訓練は年に1回。まちづくり委員会の役員がそのまま自主防災会になっている。参加は50%。組長さんには安否確認をお願いしている。アパートの方の参加はない。訓練後、自主防災で持っている備品の確認。トイレ作り。日赤の炊き出し。	総務	A
174	上郷	1	・いざ避難してくださいとなっても避難しない状況。	総務	A
175	上郷	1	・避難所で名簿を作成することは知っているか？世帯ごとに作る あらかじめ世帯ごとに作るのようにお考えですか？ 上郷に5000世帯あり帳票を用いて作成してよいのか？	総務	A
176	上郷	1	・上郷も36災害で流された。大雨に対しての想定はしていないが、天竜川上流のダムが一斉放水した場合の想定はしている。訓練はまだやっていない。伝達訓練の必要性は考えている。 震度6以上の野底川に自然ダムが出来た場合とか想定しなければならない。	総務	A
177	上郷	1	・上郷も36災害で流された。大雨に対しての想定はしていないが、天竜川上流のダムが一斉放水した場合の想定はしている。訓練はまだやっていない。伝達訓練の必要性は考えている。 震度6以上の野底川に自然ダムが出来た場合とか想定しなければならない。	総務	A
178	上郷	1	・防災訓練の時各地区から消火器の使用訓練等依頼があれば参加している。非常招集訓練の時日奉奉仕団と救急訓練を行っている。大雨の時消防団に要請がかかり対応している。天竜川の野底川等の水位に対して対応している。	総務	A
179	上郷	1	・炊き出し、救急訓練、避難所体験ゲームを行っている。（配置や熱の子ども妊婦どのように仕分けするか対応するか）コロナ前は各地区に行き行っていた。	総務	A
180	上郷	1	・4年目であるが何をしたいか何を求めるのかわからない。ロープレのようなものがあればいい。	総務	A
181	上郷	1	・上郷としての課題が沢山ある。地域コミュニティを取ることが災害時に有効に活用できる。住民の安全第一になると思う。 これからのまちづくりの課題として行う。防災意識を高めることが重要。市議会のみ皆様にも市に提案するだけでなく足を運んでもらい一般の方々から話を聞く意見交換をしてもらいたい。 いざ災害が起きた時避難所を開設することは大変なことである。相当の人数が運営している。飯田市から応援が来てくれるのか？運営していく時の人材確保が必要。課題が山積みであり。	総務	A
182	上郷	2	・自分が健康に気を付けていても、自分自身が介護の担い手になってしまうかもしれない。	社文	A
183	上郷	2	・社会参加がいいことは分かっているが、参加することがおっくう。社会参加は女性の方が積極的。	社文	A
184	上郷	2	・畑を共同で使っている。運動はできないが、皆で汗を流すのはいい。農地が荒れている。こうした利用を呼びかけ、あっせんできないか。	社文	A
185	上郷	2	・マレットゴルフが生きがい。プレイするだけでなく、皆でマレットゴルフ場をきれいに手入れしていることもフレイル予防になっている。体力づくりになると、マレットゴルフ場の整備に楽しく取り組んでいるが、こうした整備活動に市の補助をお願いできないか。一層の励みになると思う。	社文	A
186	上郷	2	・要支援1にならない人でも、歩くのが大変。何とかならないか。市民バスよりも細かく回ってくれるデマンドタクシーがあるとありがたい。	社文	A

令和4年度 飯田市議会報告・意見交換会で寄せられた意見・要望等

No.	会場	分科会	分科会での意見等	担当委員会	取扱区分
187	上郷	2	・いきいき教室はコロナの影響があり、参加者が少なくなった。お年寄りは、参加することでフレイル予防になる。ボランティアの運転手が頼りになっている。	社文	A
188	上郷	2	・ドライバーが確保できず、白紙になったものもある。料金の統一があるとやりやすい。	社文	A
189	上郷	2	・ポイントがあると誘いやすい。要支援になっていない人のフレイル予防に活かしてほしい。	社文	A
190	上郷	2	・委員のなり手がいない。支える側のためにも、ボランティアにポイント制度があるといい。	社文	A
191	上郷	2	・集まりのタイトルに高齢者感を出さない方がいい。自分とは違うと、参加しない人が出てくる。	社文	A
192	上郷	2	・65歳になっても、まだ青年のような気である人がある。こうした意識改革にも、並行して取り組んでほしい。	社文	A
193	上郷	2	・農作業を通しての健康づくりも大切。その土地の特徴を生かし、運動一辺倒の健康づくりからの脱却が必要。	社文	A
194	上郷	2	・職員の方が自宅に健康レシピを届けてくれた。私の健康づくり状況を、不在の私に代わって夫から聴取してくれた。良い取り組みだと思うので、本人への補足確認も後日してほしい。	社文	A
195	上郷	2	・市の大陽がん検診の申込が、90歳の方に届いていなかった。89歳までだと聞いたが、それはなぜか。	健康福祉部	C
196	上郷	2	・飯田市のマレットゴルフ場に少しでもいいので整備のための補助金を出していただきたい。飯田市運動公園(三日市場)・松尾・座光寺・親水公園・焼却場MG・今田平等々(市体協の大会長は市長さん)(市のものは市でやっているのもそれ以外)	教育委員会	D
197	上郷	3	・(丸山の市政懇談会の時に)丸山には風越山麓わくわくプロジェクトがある。風越山に関わる団体がいくつかあるし、登山口は羽場、丸山から上郷までであるが、情報共有化とか調整を飯田市の方でお願いできないかと委員長が言っていたが、佐藤市長もその時にどういふところから地元に入って議論するか考えさせてほしい。と回答されていた。	市民協働環境部 産業経済部	D
198	上郷	3	・キャンプ場、先週も14張位あった。野底山に行くのに計画的に道を作っていくと案内するのも難しい。広域農道をうまく使えばいいが、計画が止まってしまっているのが道路網と宣伝の仕方に困っている。(中央道のボックスを大型バスが通行できない)	建設部	D
199	上郷	3	・(農協)就農研修を年に5名ほど進めてきており、高森・豊丘・喬木は農地や住宅のバックアップをしてくれており移住者増えている。飯田は移住とは担当が違うのでなかなか進んでいない。飯田管内でも新しいものを作ってほしいということではなく、空き家利用などしながら長期に自分の魅力にあったところを探せるような体制づくりに力を貸していただきたい。	市民協働環境部	D
200	上郷	1	・ハザードマップには土曾川は影響ないといわれている(平成2年)。県の方といわれている返答を欲しい。	総務	E
201	上郷	1	・市より防災に対しての住民全体の意識向上を目指した具体的な取り組み方法を指導していってもらいたい。(指導体制も含め)組合未加入者への周知をどうやっていったらよいか。	総務	E
202	上郷	3	・人を呼ぶという、イベントとかを考えるが、それも大事だが、飯田の魅力はどう発信するかが大切。空き家もそうだが、田舎暮らしを考えている人たちがどう発信するか、地主さんがどのように活用するか、どのように使ってもらいたいとかという情報が入ってこない。やはり発信の仕方が大事。	産建	E
203	上郷	3	・昔息子が品川FMと交流していて、2が月に一回行っていたが、やっぱり忙しくてやんなくなっちゃって、発信ができなくなっちゃった。ああいうのを有効にバックアップしてくれればいい。	産建	E
204	上郷	3	・リニアなどで飯田へきて野底キャンプまでどうやって行くのか、高齢者の移動手段なども考えていかなければならない。研究していってもらいたい。	産建	E
205	竜丘	1	防災訓練の取り組みと課題はどうか。 ・上川路は、115戸あり自治会役員で自主防災は組織されている。訓練は、役員中心で計画し実施している。訓練の為に組織であり、発災した場合、機能するの不安である。竜岡区でもいざ発災した場合はどうなるんだ、との議論をしている。しかし、良い方策は見つかっていない、また役員は2年で総入れ替えとなり、取り組み内容の継承が難しい。そこで、全区として防災委員を設置して、その対象者は2年で交代しない事を申し送りしている。発災時には、その方が中心となり対応が出来るよう進めており、消防団経験者、市の消防署経験者等を充てるよう調整している。しかし、現実にはその方たちも発災時に駆けつけられるのか未知数である。自主防災役員との意識向上のため、来年度からは役員の人数を絞って、個々の意識啓発を図っていく。防災訓練は、年1回9月の飯田市の訓練と並行して実施。参加者は軒で1人参加、約80%(90人~100人)となっているが、コロナ禍でここ3年は未実施。協議していることは、区単位ではなくもっとう小さい単位でどう対応するか、である。隣組単位で安否確認をし、その情報を区へ持ち寄りしきみを来年度から作っていく。組長、常会長が防災役員となり現場ごとに取り組む。おかげさまで上川路区では組合未加入者7戸のみであり、取り組む土壌は出来ている。 ・駄科も区の役員が自主防災役員をしている。しかし、コロナ禍でここ3年何もしていない。震災時の対応が不安である。安否確認は組合単位で行うようにしているが、昼間会社勤めなど不在者も多く、どう機能させるか課題である。協議会を月1回開催し検討をするが良い答えは無い。約500戸以上いるが、未加入者約130戸と更にアパート住まいの方等、未加入者は多い。 ・長野原区は、防災訓練のための訓練となっている。前々任者が防災訓練の詳細スケジュールを作成頂いており、活用し助かっている。コロナ禍で昨年は、組長のみ参加で消火訓練を消火器使用し実施した。数字は不確定だが組合未加入者は多く、組合費も頂かないが平等との意識に立ち飯田市広報など様々な情報は各戸配布している。そういった状況もあり、自治会組織の存続意義が分からなくなっているのも実態である。 ・桐林は、400戸で組合未加入34戸。本年に入り2戸脱退があった。現在の組合員をどう維持するのが課題である。自主防災会は45人、本部へ4人、区民センターへは41人が集合する。私も66歳であるが現役で働いている。今後は70歳まで働く世代が増えていくと想定される。昼間の対応など出来ない。コロナ禍で市の防災訓練は中止となったが、区で出来る事をやろうと安否確認を実施した。組長、常会長が連携し区へ報告するというもの。更に支え合いカード更新を実施。これだけではどういう状況でも重要であるとの認識で実施した。またWeb上へ区の情報アップしている(勝野副区長が作成しアップ)。QRコードをつくり皆で共有している。しかし、利用できる方は多く見て3割程度である。実際はそれ以下と思う。ペーパーレスを目指すのが実質的には出来ない。区会情報でも4割の方しか利用できない。結果、Webなど活用するも作業は二重に掛かり、とてもやり切れない。有事の際、昼間であれば仕事で自主防災会メンバーも区民センターへは来れない。よって、区民センター入口の鍵も常会長へお渡しし、有事の際は区の方の了承を取らずに必要と判断した際にご使用頂くよう申し合わせている。Web作成などの引継ぎや後継者育成は、出来ていない。	総務	A
206	竜丘	1	防災意識向上へ、子どもたちの参画を促し、防災意識を身に着ける取り組みをどう思うか。 ・避難所へ集合する際に、家族全員での参加を呼び掛けている。そうすると、ある程度子供も一緒に参加してくれている。シェイクアウトが出来たか、何人中何人避難が出来たか、等確認している。	総務	A

令和4年度 飯田市議会報告・意見交換会で寄せられた意見・要望等

No.	会場	分科会	分科会での意見等	担当委員会	取扱区分
207	竜丘	1	避難所の非常食など資機材の準備状況をどう思うか。 駄科では、仮設トイレに課題があると認識している。以前確認した際に、和式タイプへの囲いと便座は準備されていたが、汚物回収する器は洋式だった。即市役所へ連絡し代替品を補充した。また、準備されている数量が足りるのか分からない。女性用など囲い他、相当数が必要と考えるが現状で良いのか分からない。 →山本地区の情報を紹介する。浄化槽をトイレへ使用し汚水マスの上に便座及び囲い設置にて使用している。訓練もそのように実施している。 ・竜丘区は、9割程度が下水処理である。 →下水管でも各戸に下水マスがあるはずで、その上に便座及び囲い設置にて使用する訓練をしてみる工夫をしてはどうか。 ・参考にしてみる。 ・桐林区集会場のトイレは、あえて水洗トイレにしていない。有事を想定している。	総務	A
208	竜丘	2	フレイルという言葉を知っているか(聞いたことがあるか)。 ・健康体操の時にフレイルという言葉が出たので、スマホで調べた。	社文	A
209	竜丘	2	健康の為にやっていることは。 ・65歳、雨の日を除いて毎日1時間4.5km6,000歩、決まったコースを歩いている。自分の考えで始めた。 ・2ヶ月に1度、医師の診断を受けている。何かが必要な事は頭ではわかっているが、何もしていない。 ・週に3～4回は歩く。草刈りや田んぼなどの農作業、自転車に乗るなど、意識して体を動かしている。ご飯の量も調整している。論より実践が大切。 ・長野原では、いきいき教室などの集まりがあるが、参加人数が減ることはあっても増えることはない。開催している側からは、集まってくれるとうれしい。保健師の指導によって、体操や囲碁ボールなど、テーマを決めて毎月行っている。	社文	A
210	竜丘	2	ポイントなどインセンティブについてどう思うか。 ・やってみなければわからない。「自分の体は自分で守る」という意識を市民一人一人が持つことが重要と考える。	社文	A
211	竜丘	2	「フレイル」という言葉は、高齢者に広まると思うか。 ・伝わりにくいのではないか。 ・会合等で話題にのぼれば覚えられるが、一般の家庭生活では伝わらないのではないか。 ・言い換えるとしたら、「要介護アラーム」「脱要介護」「虚弱バロメーター」などが考えられるかも。 ・フレイルが全国的に使われているのであれば、当市でもフレイルを浸透させるべきではないか。	社文	A
212	竜丘	2	・いきいき教室への参加者は、80代から90代がほとんど。保健師はもう少し若い年代から集めたいと言っているが、60～70代の参加者は殆どいない。若い人のグループ化も必要では。	社文	A
213	竜丘	2	・「周辺でラジオ体操をやっている人は見かけない。会社では流している所もあるので、企業との連携も考えられるのでは。	社文	A
214	竜丘	2	・高齢者は特に「他人に迷惑をかけたくない」という意識が強く、健康福祉で働きかけてもうまく進まないのが現状。地域での共助をどう進めるか。	社文	A
215	竜丘	3	・農地の下限面積を何とかしてほしい。	産業経済部	D
216	竜丘	3	・空き家が増加しているが、相続が出来ていないなどで対応できない、行政として何とかできないか。	市民協働環境部	D
217	竜丘	3	・有害鳥獣の被害が多くなった。(特にアナグマなど)	産業経済部	D
218	竜丘	3	・リハビリ専門の病院のように、何かに特化した施設ができれば、さまざまな資格を取得した方の職場が増える。	健康福祉部	D
219	竜丘	3	・公民館活動が盛んであるが、だれでも参加できる生涯学習の意味合いが薄れてきている。原点回帰が重要。	教育委員会	D
220	竜丘	1	・避難所には応急避難場所もあり耐震性不足他課題により24時間以降は別の場所へ移らなくてはならない。補強、建て替え予定はあるのか。施設機能及び体制面でどこまでを避難所として扱うのか教えて欲しい。更に食料、資器材の備蓄を集中的に配置し管理しないと、あっちもこっちもでは、どこに何があるのか分からないし機能しない。行政としてきちんと示して欲しい。 →鼎地区でも避難所の収容可能人数他、行政への提示要望があり、今回の件と併せて、避難所の扱いについて問い合わせしていく。 ・やはり組合加入者・未加入者双方を含め、どう意思疎通を図って行くのか課題と考える。	総務	E
221	竜丘	1	行政、市議会への要望などお聞かせ下さい。 ・防災訓練のあり方に疑問がある。実質的な訓練にはなっていないのではないか。訓練にて防災意識を高める事は重要と考えるが、訓練のための訓練となってしまう事が残念。	総務	E
222	竜丘	1	・集会場への食料備蓄などは、その入替え作業など考慮すると継続的な管理が難しいと考える。あるものを使う発想はどうか。区として燃料、食料他、地域企業・商店などとの連携を模索している。発災時には必要物資を供給頂き、支払いは後払いとする協約など結べないか。行政がつなぎ役になって貰えないか。 →飯田市へ検討を依頼していく。	総務	E
223	竜丘	3	・農振除外の条件が厳しく、土地の利用価値を見いだせない。	産建	E
224	竜丘	3	・傾斜地の農地は、宅地化した方が固定資産税も増え耕作放棄地が減るのでは、もう少し柔軟な対応をしてほしい。	産建	E
225	竜丘	3	自治基本条例を市民に理解していただき、一般市民にも移住定住の一役を担ってもらえるような活動が重要では。	産建	E
226	竜丘	3	・移住定住を担当する職員を増加しては。	産建	E
227	竜丘	3	・「おためし住宅」をグリーンツーリズムに限らず、希望者すべてに貸し出しては。	産建	E
228	竜丘	3	・飯田市は、気候的にも良く多様な農産物が収穫できる。食べ物も美味しいが農家の後継者不足が大問題である。	産建	E
229	竜丘	3	・竜丘地区の古墳群は地域の宝であるが、存在自体があまり知られていない、古墳公園の整備も重要だがまず意識の共有が必要では。	産建	E
230	竜丘	3	・恒川遺跡と竜丘の古墳群を関連づけて、点ではなく線から面として捉える取り組みが必要では。	産建	E
231	川路三穂	1	自主防災会の訓練状況は。 ・防災訓練は世帯で一名。ほぼ全世帯参加。1人暮らしの足の悪い人は近所の方が安否確認。 ・全員参加。一人暮らしの足の悪い方は安否確認。組合単位で行い各地区に集合。	総務	A
232	川路三穂	1	参加者の構成は。 ・9月は全員参加要請しているが、各家庭代表者が来ている。	総務	A

令和4年度 飯田市議会報告・意見交換会で寄せられた意見・要望等

No.	会場	分科会	分科会での意見等	担当委員会	取扱区分
233	川路三穂	1	地区独自の防災マニュアルは。 ・訓練のマニュアルはあるが災害が起こった時に使えるのか見直しを行わないといけない。 ・ファーストミッションボックスがあります。6月に水防訓練を行った。水害時のボックスが必要を感じた。 ・避難所開設訓練を行う予定だったがコロナで中止になった。役割はできている。	総務	A
234	川路三穂	1	自主防災組織について見直しは。 ・年から地区組織変更する。5地区になるので見直さなくてはならない。子供を含め家族で参加しないと思う。 ・区を超えた避難所では対応が出来ない。訓練もできていない。	総務	A
235	川路三穂	1	防災知識の為の学習会は。 ・公民館の女性委員会で防災学習会を年1回行っている。(飯田市の危機管理課を講師) ・自主防災的にはやっていない。	総務	A
236	川路三穂	1	避難行動時の要支援者は。要支援者マップ名簿は使えるか。 ・組合長が共有している。	総務	A
237	川路三穂	1	安否や被害の情報収集は。 ・第一避難場所に集まった時点でご長さんが把握する。 ・昨年12月に区民全軒の家族構成調査を行った。一時避難場所に集まった時点で把握できる。組合員からご長に報告するように訓練している。要支援者も各ご長が把握している。 ・防災避難所の運営を区の役員で出来るのか。過去に土砂災害があり避難所開設したが2家族避難してきた。個人で判断して避難所に行くのか知人のうちに行くのか判断をしてくださいと区で言っている。役員だけで継続していくことが大丈夫なのか。	総務	A
238	川路三穂	1	避難所運営の訓練は。 ・年に1回行っている。(まちづくり役員・日赤・消防団) 防災川路避難所運営訓練に参加している。毎年同じ訓練を行っている。避難所運営訓練委参加していた人が災害時に来れない時はどうなるのか。	総務	A
239	川路三穂	1	リーダー養成研修会は。 ・区としてはリーダー養成はしていない。区の役員8名が引き継いでいる状況。 ・やってはいないが生活安全で他地区に行き視察してくる。来年区編成で18人が半分になってしまう。 ・防災避難所の運営を区の役員で出来るのか。過去に土砂災害があり避難所開設したが2家族避難してきた。個人で判断して避難所に行くのか知人のうちに行くのか判断をしてくださいと区で言っている。役員だけで継続していくことが大丈夫なのか。	総務	A
240	川路三穂	1	組合未加入者は。 ・80世帯加入。27世帯未加入者。未加入者訓練していない。防災について何もできていない。竜峡中体育館が避難所になっているが鍵を持っていない。持たせてくれないかと市長にも言っている。 ・入区してきた人でさらさら入る気はないといわれる。子供でもいれば入区の可能性はある。 ・未加入者に特に区別していない。	総務	A
241	川路三穂	2	健康のために何か日頃からしていることがあるか。 ・何もしていない。 ・散歩している(1日5000歩を目標)。 ・百姓をしている朝8:30~夕方4:00まで。 ・シニア対象のフラダンス教室を開いている。	社文	A
242	川路三穂	2	健康について地域の状況はどうか。 ・シニアの集いがコロナ禍で実施できていない。お昼の会食もできない状況。 ・地区で健康体操の講師を呼んで実施した。また高齢者クラブの会長が熱心に呼び掛けをしてくれたおかげで40名程が集まった。多く参加してくれたとても良かった。 ・知らないうちに亡くなっている方、入院してしまっている方がいる。【三穂】 ・いきいき教室を開催している。また、お茶のみサロンにてラジオ体操をしている。こう言った会合で社会福祉協議会から話を聴いたり、運動やウォーキングを実施している。 ・最近では人数を限定してではあるが、足裏健康教室も実施した。 ・コロナ禍で開所が遅くなったが、一昨年から通所Bを実施している。利用者は10数名(ボランティアが12名、運転手が2名)。 ・川路4区の現状…100件中77歳以上が56名、20名くらいは健康教室などに参加している。【川路】 ・男性が参加しづらいと感じる理由として催し物のタイトルや響きが良くない。一方でマレットゴルフの参加は男性が多い。【川路】 ・公民館と協力してヨガを実施した。男性も来ていただいた。 ・男性は気持ちが若い。70代はまだ高齢者ではないと感じる。会の名称が年寄り臭いため参加したくないネーミングが良くないこともある。【三穂】	社文	A
243	川路三穂	2	参加のための足の確保などの現状はどうか。 ・ほほえみ会はボランティアで送迎のみ実施している。また、利用者が増えてきている。 ・ボランティアでも人を乗せて運転するのは不安がある。自分の車を使う事にも抵抗がある。ボランティアの高齢化という課題もある。【川路】 ・福祉有償運送について、ドライバーの確保が出来ないために計画が白紙になってしまった(ドライバーの高齢化、家族からの反対などの理由があった)。よって別の方法を検討中。【三穂】	社文	A
244	川路三穂	2	ポイント制度を導入することで参加者は増えると思うか。またボランティアポイントなど運営側の励みになるか。 ・ボランティアの方へ少しでもお礼が出来ればよい、気持ち程度でも良い。 ・市内統一のポイント制度としてもらえるとやり易い。 ・現状ポイント制度はないが友達の呼び掛けで参加する方もいる。 ・ポイントをどのように活用したらよいか検討が必要。 ・ポイントを付与しても参加しない人ばかりではないか。【川路】	社文	A
245	川路三穂	2	全体を通して質問は。 ・今回のテーマ「健康寿命の延伸」としているが、飯田市は健康寿命が下がっているのか。どのような目的で今回のテーマとしたのかわからない。健康寿命の延伸という内容について委員会としてどう考えているのか事前に説明が無いと意見交換ができないと思う。【三穂】 ・川路公民館のトイレについて、1階にしかなく、高齢者が利用するのに大変不便を感じている、改修をお願いしたい。【川路】 ・健康寿命の延伸は大事な視点であり、切り口を変えて考えてみると農作業を通して健康を維持する事も方法の一つとして感えられる。多角的な視点で政策に反映していただきたい。【三穂】	社文	A
246	川路三穂	3	・天龍峡大橋の遊歩道の活用を考えてもらいたい。(意見)	産業経済部	D
247	川路	2	・川路公民館のトイレの段差を改築よろしくをお願いします。	教育委員会	D

令和4年度 飯田市議会報告・意見交換会で寄せられた意見・要望等

No.	会場	分科会	分科会での意見等	担当委員会	取扱区分
248	川路三穂	1	・ほかの地域も聞いてみたい。まずは自助が必要なのかと思う。常にここは危ないとか危険を見ておかないといけないと思う。事前予防を市は対応してくれないので今後対応してほしい。地震の関係で浜岡や敦賀の原発が被害があった時、この地区にも放射能の問題があるのか検討しているのか。	総務	E
249	川路三穂	3	天龍峡マルシェの会場にトイレが足りないため、増設の検討をしていただきたい。	産建	E
250	川路三穂	3	・65歳定年になると、地域、まちづくり委員会の役員の選出が問題になる。(意見)	産建	E
251	川路	1	・市への要望を聞いてほしかった。竜峡中学の地元として避難したいと考えている。地元へ体育館のキーを貸してほしい。	総務	E
252	下久堅上久堅	1	問1① ・80%以上の出席。子供は少なく、高齢者がメイン。年一回開催。 ・7地区あり、その区がメインで取り組んでいる。本部立ち上げは遅い。(以上、下久堅) ・80%以上。幅広く参加している。年一回開催。 各地区がメインで、本部の立ち上げを同時には難しい。(以上、上久堅)	総務	A
253	下久堅上久堅	1	訓練の実態は。 ・夜間訓練は危険といわれるが、必要ではないか。 ・夜間訓練は必要と思う。各地区ではなく、全体での訓練も年複数回は必要ではないか。 ・地区の避難所を開設後、本部に向かう。 ・地形がそもそも不利。道路が一本しかなくとも不安である。 ・避難所に非難された方が名前等記入できるよう準備されている。 ・13の区があり、うち3地区の集会所(避難所)が土砂災害のレッドゾーンである。 ・避難所を開設するも、自宅以外で仕事をしている人が多く実際集まらない。	総務	A
254	下久堅上久堅	1	助け合いの実態は。 ・要支援者は、各常会にて毎年見直しをしている。 ・声かけを実施している。コロナ禍前は、リヤカーを使い該当者宅を巡回した。 ・集会所に要支援者の位置が示してある。	総務	A
255	下久堅上久堅	1	行政に望むことは。 ・減災に力を入れてほしい。(道路整備、排水、急傾斜地対策、間伐材の除去等) ・(入り組んだ地形のため、また道路事情が良くないため)物資の輸送が不安。 ・各種団体との連絡連携体制が不安である。 ・下手に自宅から出ると逆に危険(道路や斜面維持が乏しく危険である) ・地区内にある個人所有の重機等、除雪や何らかの作業に従事した場合の補償等明確にしたほうが良い。 ・除雪の範囲が狭すぎる。 ・松くい虫被害等による倒木の恐れが多い。 ・自主防災の見直しが必要ではないか。絵に描いた餅。訓練の重要性。 ・消防団の待遇向上を望む。	総務	A
256	下久堅上久堅	1	・先にも述べたが、減災への取り組みを充実しなければ、地区での訓練に限度がある。しかしとっさでの行動は、自身が積み重ねる訓練でしか得ることはできない。また、実態のマニュアルの見直しや、本部立ち上げ訓練を行うことで役員の士気向上にもつなげていきたい。	総務	A
257	下久堅上久堅	2	・スポーツ仲間がいる。体を動かしなら世間話もできるのでいい。	社文	A
258	下久堅上久堅	2	・大正琴を通して施設の慰問を続けてきた。コロナで途絶えているけれど、交流の場は必要。	社文	A
259	下久堅上久堅	2	・コロナで、男性の料理教室と異文化交流での餃子づくりがなくなってしまった。再開してほしい(←下久堅?)	社文	A
260	下久堅上久堅	2	・高齢者向けの健康教室は、来た人を逃さないことが大事。立ち上げた人たちの高齢化もあり、持続は難しい。	社文	A
261	下久堅上久堅	2	・農作業ができて介護認定がなくても、中山間地域のため、足がなく困っているお年寄りがいる。移送サービスが使えず、可哀そう。	社文	A
262	下久堅上久堅	2	・免許証を返納すると認知症になる傾向にある。物忘れも始まるため、高齢者は免許の更新も大変。	社文	A
263	下久堅上久堅	2	・仕事を持っていると、ボランティアは難しい。自分の生活がある。	社文	A
264	下久堅上久堅	2	・ポイントが付くからと、健康教室にお年寄りが参加するかは疑問。	社文	A
265	下久堅上久堅	2	・足がないお年寄りを車に乗せて何かあったらと思うと、乗せる自信がない。	社文	A
266	下久堅上久堅	2	・山本公民館のように、下久堅でも公民館活動にポイント制を取り入れようと考えている。	社文	A
267	下久堅上久堅	2	・フレイルは自分には関係ないと思っていたけれど、切実な問題だと分かった。若い世代にも考えてもらうことが必要。こうした場合は、自分たちの声を議員さんに届けられるいい機会。リモートでもいいので、またやってほしい。	社文	A
268	下久堅上久堅	2	・中学の部活の地域移行については、子どもと父兄の声をしっかり聞くことが必要。	社文	E
269	下久堅上久堅	3	・ひさかた和紙の情報発信については、南信州の中では認知度は高まってきた。外へどう発信するかが課題。	産建	E
270	下久堅上久堅	3	・情報発信は課題である。地域が目指したいビジョンをどのように設定するかが大事。ただ、ひさかた和紙の情報発信は、販売を持ち掛けるなど、特化して発信したらどうか。 ・地元の人に地域の取り組みが伝わっているかは回覧板などを使って知らせているが、組合未加入者とどう関わっていくかは課題となっている。	産建	E
271	下久堅上久堅	3	ひさかた和紙の職人として生きていきたいが、和紙だけでは生計がたたない。やめた方がよいという意見もあるが、今は継承が主眼。昨年、まちづくり委員会も会員となり新たな組織を立ち上げた。ボランティアだけでは続かない。まずはいろいろなところで使ってもらい、活用を広げたい。紙すきは下久堅だけしかない。地域の子どもの体験してもらい、一旦地域を離れても帰ってきてほしい。誇れる地域が大事ではないか。	産建	E
272	下久堅上久堅	3	・上久堅の魅力、土地はあいている。空いている農地を集約してIターン者に貸してはどうか。細々でも田舎暮らしは出来る。土地を生かす、アドバイスする人が必要ではないか。	産建	E
273	下久堅	1	・自主防災組織体制の見直し、検討をしたい。市の危機管理課からの助言等をお願いしたい。	総務	E

令和4年度 飯田市議会報告・意見交換会で寄せられた意見・要望等

No.	会場	分科会	分科会での意見等	担当委員会	取扱区分
274	千代龍江	1	地区の状況や訓練の様子はどうか。 ・以前からあるマニュアルを時代に合うよう見直し行っている。※自衛消防隊の活躍 ・各区に払い下げの消防車を備え消防団OBのもと訓練を行い出動している。(10~15名 OB+未経験者上は70代) ・センターが本部となり誰が来ても開設できるよう張り出し準備している。(避難所は小学校) ※安否確認台帳作成し訓練している。 ・マニュアルに沿い高齢者から子どもまでもほぼ全員の参加で行っている。 ※消火訓練 消火栓を開き放水訓練を高齢者・女性・子ども(高学年以上)行っている。…いざという時、消防団いない… ・デジタル無線での伝達訓練の実施。 ・発電機のカソリン → ガソリンスタンドで保管。 井戸水個所をピックアップ浄水器検 危機感の薄れ心配 各戸に本日の資料配布検討 ・避難時には排泄も重要。簡易トイレの確保。 ・共通して：コロナ禍で訓練できていない 有事の際動けるか心配	総務	A
275	千代龍江	1	被災想定予想して準備をいするか。 ・土砂災害は経験あり想定できるが大震災は経験なく想定できていない。※各地区へ被害想定アプリの啓発必要	総務	A
276	千代龍江	1	家具の転倒防止など備えているか。 ・確認はしていないができていこうと考える。	総務	A
277	千代龍江	2	・フレイル予防のためにいきいき教室をやってきたが、コロナ禍で集いの場ができず、もう教室もやめてしまおうかという話もある。ありきたりだけれども、ウォーキングなど市で新しいイベント事業をして欲しい。	社文	A
278	千代龍江	2	・高齢者にフレイルという言葉は伝わりにくい。説明しても難しいのでは？日本語訳は怖い。「介護予備軍」に近いと思うが、微妙に違うかもしれない。	社文	A
279	千代龍江	2	・この辺りは山の中なので、畑仕事や草刈り(草むしり)などの日常生活で十分介護予防になっている。	社文	A
280	千代龍江	2	・令和の要介護は90歳以上。80歳過ぎても野球や踊りなどみんな活発に活動していてみんな若い。	社文	A
281	千代龍江	2	・肉体的もそうだが精神的に若いことが大切。わざわざなにかフレイル予防活動するよりも、選択肢を増やすことの方が大切。現状でも公民館活動で色々十分やっている。それをもっと拡充していけばいい。この地区でも公民館活動はすごく活発にやってる。	社文	A
282	千代龍江	2	・市から高齢者向けの事業のPRをもっとする。各地区において高齢者向けの活動は色々やっている。それぞれの活動を事例共有して横展開していくのが良いのでは。	社文	A
283	千代龍江	2	・身体を動かすだけじゃない、文化活動でのつながりなどもっとあっていい。身体とともに精神面でのサポート。心と体両面からいかないと。	社文	A
284	千代龍江	2	・人は興味のあるものをやる。だから好きなことを選べるようにもっとジャンルを広げて欲しい。飯田市は選択肢が狭い。	社文	A
285	千代龍江	2	・このあたりの高齢者は、きのこ採りには命がけで行く。普段はあちこち痛い何もしないような人も、好きな柿採りはピンピンして行く。	社文	A
286	千代龍江	2	・高齢者福祉=集いの場で何かやる⇒違う！ 今どきの年寄りには、若い頃良い洋画を見ていた。ビートルズを聴いていた。そういう青春時代を送ってきた感性の高齢者には、集いの場で子供向けのようなことをさせられてもつまらない。 高齢者の年代ごとに、ひばり世代、ビートルズ世代、フォーク世代と色々ある。世代に合わせたワクワクするような活動をして欲しい。	社文	A
287	千代龍江	2	・「妻の言う通りのものを食べていう通りに動くことが一番の健康作り」という発言にみんながうなづく。	社文	A
288	千代龍江	2	・竜東は農村なので昔の良い面が残っている。組合加入率も90%以上。まちぼと違って近所づきあいも盛ん。農村ならではの介護予防、つながりがある。兼業農家は働く力もある。龍江に来てくれれば生活しているだけでフレイル予防できて長生きできるから、ぜひ来て欲しい。	社文	A
289	千代龍江	2	・鎌田實氏曰く、長野県は農業が盛んだから長生きできると言っていた。	社文	A
290	千代龍江	2	・ポイント制は田舎の人には難しい。ポイントよりも農業やきのこ採りの方が大事。	社文	A
291	千代龍江	2	・なにがポイントになるかによる。活動するための目標になるかもしれない。	社文	A
292	千代龍江	2	・参加する側だけでなく、催す側ボランティアにもポイントは欲しい。	社文	A
293	千代龍江	2	・このあたりの高齢者は元気が良い。70~80代が多いがみんな若い。(だから高齢者対策よりも、人口増やすことに注力して欲しいという感じ?)	社文	A
294	千代龍江	3	・これからどうするのか、議会報告会ではない場所で共通の話題で話し合いが出来たらいい。	議会事務局	D
295	千代龍江	3	・2年に一度の空き家調査している。龍江の場合は100件超えているのではないかと、いろいろな理由があつてすぐに入りたいというニーズに対応できていない。 土地付きで欲しい希望があるが、規制もあるので難しい。(下限面積のこともあるので)	市民協働環境部	D
296	千代龍江	3	・今日はいい話し合いが出来たが、話し合いの内容の検討や今後の対応、次回開催にむけてどのように取り組んでくれるか。	議会事務局	D
297	千代龍江	1	行政へ要望。 ・消防団員の確保。地元には若者がいない。確保困難。地域や団員に任されても解決できない。 ・火災が起きても消せる人が(消防団)いない。真っ先に龍江分団が駆けつけてくれてはいるが、団員確保が無理ならハード面(消火栓の増強・消火器の配布)を強化してほしい。 ・有事の際、避難するのめかえて危険。 ・自宅の安全な箇所において「黄色いハンカチ」作戦有効。好事例として横展開を。 ・安否確認、高齢者耳が遠く結局一軒一軒訪問している。「黄色いハンカチ」取り入れたい。 ・要支援者リストや地域のマップは特定の方しか扱えない。個人情報のある件もあるがより広範な人が、扱えるよう行政でも考えてほしい。	総務	E
298	千代龍江	2	・ウォーキングに関しては、コース設置だけじゃだめ。その活動に巻き込む人材をつくらないと。(保健師やトレーナーなど)自身もウォーキングをやっている。やり始める前は嫌々だったが、やり始めて慣れると楽しくなる。とっかかりを行政の方でつくってしかけて欲しい。歩くためのきっかけづくりが大切。	社文	E

令和4年度 飯田市議会報告・意見交換会で寄せられた意見・要望等

No.	会場	分科会	分科会での意見等	担当委員会	取扱区分
299	千代龍江	2	・ウォーキングコースや設備などハードができてきているだけ。保健検診とウォーキングコースを同期することが必要。「あそこにウォーキングコースがあると誰でも知っている」けど、それだけで活用されてない。	社文	E
300	千代龍江	2	・県・社協・市など色んなところで、いろんな事業をやっている。それぞれに関わっているから高齢者は忙しい。整理して統合できれば良い。何でもかんでもやればいいものではない。現状把握を。	社文	E
301	千代龍江	2	・竜東は人口が減っている。高齢化率も41%を超えた。以前は出生数も20人前後だったが、令和になってからは一桁。じきに複学級制になる。人口減少をなんとかせねば。移住者を増やすため、地域おこし協力隊とともに、地区外へのイベントをししかけている。PR資料もつくって市外へ配布している。移住、交流人口を増やす取組をもっと市はやって欲しい。	社文	E
302	千代龍江	2	・竜東地区でも地区として人口を増やす取組はしている。しかし市としても山保育のように何か特別な取組はできないか。自然がたくさんあるし、地域としての可能性もある。地区としてもがんばるので市としてもがんばってやって欲しい。	社文	E
303	千代龍江	3	・2年前に移住してきたが、景観が魅力的である。気候が関東と似ているため過ごしやすいこと、関東からも車で3時間くらいのため、何かあった時に最悪関東にすぐ帰れる。交通のアクセス、気候、なおかつ関東では見られない景色があるというのが移住定住へのPRポイント。	産建	E
304	千代龍江	3	・父のいとこが東京で、コマースのカメラマンやっているいるが、事あるごとによね田んぼの景観を撮りに来たり、ドローンを飛ばして撮影したりしているため、映画を撮るといのがあれば、あのフィルムコミッションなんか提案していきたい。	産建	E
305	千代龍江	3	・地元にある、この地の魅力を発信すること、縁をつなぐことが大切だと感じた。今いる地元の皆さんが元気で笑顔でお迎えられるか、外への発信と同時に、地元の今の暮らしを豊かにしたり、誇りを持てる事、そうではないと移住する人たちもそう感じるところがあるのではないか。龍江インターも三遠南信につながる。近くの工場で、いわゆる転勤されてくる方のお話聞いたりすると、まず生活環境境境というのを常に重視してみたいで、子供さんの教育、医療の問題、買い物をはじめ、コンビニがない。生活環境もある程度構築していかなくてはいけないので、その視点を持っていたきたい。自転車の両輪のようにおもてなしの気持ちと、元気な地区の皆さんが存在できる、移住する前に地域が消滅する前に、地元の活性化（今住んでいる人の）も考えていただきたい。	産建	E
306	千代龍江	3	・出張で海外へも、日本全国へも出張に行くが、1番風景的には、高速で山本に帰ってきた時に、山本から見たあの南アルプスを見ると最高ですね。帰ってきたなっていう安心感があり、この風景だけは絶対的になくしちゃいけない、という風に思います。これが1番の財産かなっていう風に考えております。私の取引先の海外から来た人たちでもですね、あの風景を見させてあげると最高のPRポイントになると思う。	産建	E
307	千代龍江	3	・山本から観る南アルプスの景観は、うちも会社のパンフレットなんかにも使ってるんですけど、非常にいい景色なことには財産だということを感じております。	産建	E
308	千代龍江	3	・それから、資料に働く場所ってということも書いてあるんですけど私、企業人として申し上げると、確かに企業誘致するのはいいと思います。けど、企業誘致をするのであれば、働く人も一緒に都会から連れてこないでですね企業ばかり連れてくるとですねこれ、飯田の中の労働人口を奪い合うだけになってしまう。そうやって人口を増やしなが、今、現状そういうことが起きていますので、なかなか、製造業っていうのが、働き手がいなくなっちゃってありまして、非常に苦勞してるんですけど、そういうところを考えていただいてやっていかないと、豊丘にプリジストンの工場があるが、あそこは30人とか40人の家族を連れてきてやっていうことをやっているとしますよね。ああいうような形でですね働き手も一緒に来てもらうような、そんな企業誘致を心掛けてもらえるとうれしいなと思います。	産建	E
309	龍江	1	・防災無線による火災発生のお知らせ方法 (〇〇付近) = 個人情報と聞いているが、後日新聞等で発表になる (大半) 外出していた時など自宅や付近の場合確認できない。 ・防災アプリ	総務	E
310	橋北橋南東野	1	・5地区では協定している。近くの避難所に行った方が有効ではないか。	総務	A
311	橋北橋南東野	1	・避難場所は私も追手町小学校の方が近い。参考に飯田の大火の時は地区外の方は避難できない物資ももらえなかった。市の避難所の看板は東中学校になっている(浜井場小学校なのに)。避難するに年寄りが多すぎる、若い人は昼間いないので困る。	総務	A
312	橋北橋南東野	1	・水災害と地震と分けなくてはならないと思う。水災害は一部の場所であるが地震の場合は、大規模になり地域の人では運営できないと思う。避難所ゲームを行っている。	総務	A
313	橋北橋南東野	2	健康のために何か日頃からしている事はあるか。 ・体調を崩したため、ウォーキングと食事に気を付けている。(お酒と脂っこいものを取らないなど) ・犬の散歩と週1回のピラティス、ただ時間が無く、日課になればよいと考えている。 ・週に4日は約1万歩あるく、食事は肉を食べる、高齢者は良質のたんぱく質をとるべきと聞いた。	社文	A
314	橋北橋南東野	2	地区で健康のために取り組んでいることはあるか。 ・コロナ禍になってから高齢者を外で見なくなった、家から出たくない方、家族が外に出さないようにしている家もある。(家族が外との関わりをシャットダウンしてしまっている) ・今年度から地区の研修として、医師を講師に委員研修を実施、認知予防の呼び掛けをしている。集まりは良くないが呼び掛けをしながら実施している。 ・以前は高齢者で集まりがあるとお赤飯やお漬物、歌を歌うなどが出来たが今はダメになってしまった。以前の楽しさは無くなり、今の楽しさでは知れている。 ・また他のクラブの話だが、コロナ禍でカーブスは80歳以上の参加を断っている。カーブスに通っていた方が体が衰えてしまい、認知も進んでしまった。	社文	A
315	橋北橋南東野	2	集まりの参加者は女性中心か、男性の参加はあるか。 ・ほぼ女性が中心で参加している。 ・100%女性である、理由は声掛けしているのが女性のみであるため。 ・1名男性参加者がいる。現状は参加メンバーが決まっている。男性は退職後もいろいろ忙しく平日や午前中の参加は難しい。解決策として夜に集まりを設けるなど検討したい。 ・また研修の内容として健康診断の表や数値の見方などを学びたい。	社文	A

令和4年度 飯田市議会報告・意見交換会で寄せられた意見・要望等

No.	会場	分科会	分科会での意見等	担当委員会	取扱区分
316	橋北 橋南 東野	2	参加するための足の確保は課題になっているか。 ・足の課題はある、地区も広い参加する場所によっては遠く自身歩いての参加は不可能。敬老会などは送り迎えがあるが、その他の対応に苦慮している。 ・いきいき教室は自分で会場まで来られる方が対象であり、来れない方はそのまま来れない状態が続く、自身で来れない方も増えているため、参加者も減ってきており、現状では参加に無理がある。 ・男性のいるサロンは送迎があり参加者は多いが、今後送迎の問題は深刻になってくる（ここは福祉有償輸送サービスの対象地域）。 ・もとの飯田市中央公民は駐車場が無く、車での乗り合わせをしていたが、過去にトラブルもあった。車で輸送を奨励するのも課題がある。 ・また新しい公民館は駐車場が有料（2時間は無料）であり、準備と片づけを含むと2時間を過ぎてしまいお金を支払っている。何とかしてほしい。 ・新しい公民館は3階にあり、階段は上り下りが厳しく、エレベーターも遠く使い勝手が悪い。	社文	A
317	橋北 橋南 東野	2	インセンティブについてどう考えるか。 ・元気な人はポイントでの買い物など行けるが、家族がいない、足が無いなどポイントや商品券をもらっても使うところもなくいく事も出来ないなどの課題がある。 ・ポイントを付与した後の金銭的な部分で財政負担を行政でしっかりしていただければよいと思う（地域で負担はできない）。 ・ポイントのメリットや内容、特典の内容によって参加したいと思う、例えば市民のみんなが注目する内容の特典など。	社文	A
318	橋北 橋南 東野	2	魅力的な得点の内容で考えはあるか。 ・お食事券が良い、使いやすい。 ・モノではなく高齢者の困りごとの手伝いなどを得点にしたらどうか（例えば、庭の草刈りなど、肩たたき券のイメージ）。 ・ポイントは高齢者はいまいちピンとこない。「困りごとに使え」このことはとても良い考え方。	社文	A
319	橋北 橋南 東野	2	運営面として、運営する側にもポイントをつけることで参加者は増えると思うか。 ・ポイントがあっても参加者は増えないと思う。	社文	A
320	橋北 橋南 東野	2	・フレイル予防や介護予防について研修など市の政策の中で実施したとしても1回実施した以降、地域での受け皿となる所（協力してくれる場所や教室の実施、意思の継承）などの継続性が大切と考える。対策を考えてほしい。	社文	A
321	橋北	2	・ポイント制は若い人や意識の高い人には一定の効果があると思いますが、今の高齢者に対しては、初期の相談体制の周知や充実がより効果的では？ まずは、包括支援センターにつながる、そこで相談を受ける、そしてその方にあったサービスや活動につながる必要があるのではないのでしょうか。	社文	A
322	橋北 橋南 東野	1	・防災訓練はコロナで中止。コロナになってから出ていない。浜井場小学校の体育館だけでは狭い。教室を使いたい（要望）（橋南より大手町小学校は教室を使ってよい）。訓練時に避難所に食料を自分で3日分くらい持つてくる。とてもできない。防災のマニュアルを作成する（今後中身をチェックしていく）。役員は避難所に行ってしまうのでどのように住民を誘導するのか？	危機管理部	D
323	橋北 橋南 東野	1	・市で行う防災訓練で行う。40組ありその中で行っている。水の手は鼎まちづくり委員会と協定するように動いている。追手町小学校の講堂が避難所になっているが、急傾斜地になっている。避難場所を変更してもらいたい（りんご庁舎も近い・結スクエアも近い）	危機管理部	D
324	橋北 橋南 東野	1	・コロナで2年出来ていない。避難所ゲームや避難訓練を例年している。避難場所があるが、水災害はないが地震の対応が必要。近くのシルクホテルや中部電力の種物に避難できないか？民間では建物を利用してもらってもよいが、水とか市で補填してくれるのか？東野地区1カ所だけでなく町内単位で避難所が出来ないか？	総務	E
325	橋北 橋南 東野	1	コロナになり色々が中止。本団の方からレベル4以上であると中止にきている。炊き出し訓練はガスを使って行すが、新しい公民館の調理室はガスは使ってはダメである（ALL電化のため）。日赤は2年交代で行っているが、やってくれる人がいなくなり困る。何をやっていいかわからない。私もくじ引きで決まった。	総務	E
326	橋北 橋南 東野	1	行政・議会に要望は。 ・AEDのマップはあるのか。 ・避難場所が段ボールではだめ。テント等の補助をしてほしい。 ・防災無線が聞こえない。 ・避難場所の耐震や収容人数がきちんとできているのか。大丈夫なのか評価をもらいたい。	総務	E
327	橋北 橋南 東野	1	・第一分科会では避難場所の確保、避難所として学校の教室使いたい、民間避難場所への協定 意見が出ました。市政に適切に伝えてください。	総務	E
328	橋北 橋南 東野	1	・避難所に組合未加入の人が来たらどうするか？組合未加入の人も市民税を払っているからどうなのか？組合に入っていないくても対応していかなくてはならない。組合加入は市ですて行ってもらいたい。まちづくりで対応するのはおかしい。	総務	E
329	橋北 橋南 東野	1	・組合入ったら市民税を安くするなどしたら？	総務	E
330	橋北 橋南 東野	1	・駅前ところで歩道の工事があり組合未加入の店を借用している人に通知を出したら封筒も開けず帰ってきた。大家が組合に入らなくてもいいと言っている。	総務	E
331	橋北 橋南 東野	3	・動物園から旧測候所までの遊歩道の整備を検討をしている。（まちづくり委員会に確認必要）	産建	E
332	橋北 橋南 東野	3	・中心市街地活性化の取り組みを進めていきたい。3地区協働して、リンゴ並木から桜並木にかけて朝市の取り組みを検討していきたい。	産建	E
333	橋北	3	・飯田市は農業委員会が強すぎる。飯田に住みたい人に転用をしやすいする必要があります。	産建	E
334	東野	1	・避難所開設ゲームは何の役にも立たない。（関心を持ったように見えたので言わせてもらいます。）一番大切な事は臨機応変、その時の災害の状況によってまるっきりちがうので！！（何を想定するのかにもよる（災害が起きる前の避難なのか起きた後の避難なのかなど）ははっきり言ってこのゲームは無駄だと思った。	総務	E
335	東野	3	・農振の農地が農業ができる環境ではない（害獣の加害）。農地の環境整備。	産建	E

令和4年度 飯田市議会報告・意見交換会で寄せられた意見・要望等

No.	会場	分科会	分科会での意見等	担当委員会	取扱区分
336	東野	3	・飯田文化会館の検討にあたっては、市民検討会議の状況報告と建設費用の試算にあたっては、建設費等詳細を情報公開されたい。	産建	E
337	羽場丸山	1	羽場地区の危機管理部(他地区に無い組織)について。 ・4名の専門委員にて構成、市の防災訓練に合わせて年2回の訓練を行っている。8月の西中学校の災害訓練時に支援員として参加。避難命令が出たときは避難所開設を担当する。地震防災訓練時には、訓練計画を立てまちづくり委員会にて承認をしてもらう。避難所の開設訓練から食料調達等の訓練を行っている。各地区の防災倉庫の管理も行っている。	総務	A
338	羽場丸山	1	参加率について。 ・安否確認訓練参加率は80%以上ある。(羽場) ・組合加入世帯は、ほぼ100%参加しているが、未加入世帯については、0%です。(丸山)	総務	A
339	羽場丸山	1	参加者構成。 ・各世帯で1人は参加し家族全員の安否確認を報告することとなっている。 ・丸山でも同じような形態をとっている。	総務	A
340	羽場丸山	1	訓練回数。 ・両地区とも年2回(6月土砂災害・9月地震防災)	総務	A
341	羽場丸山	1	マニュアルについて。 ・避難訓練前に各戸に共通のチェックシートが配られ、それに沿って各戸で確認訓練をしてから一時避難場所へ集合するように訓練をしている。 ・組長が安否確認の取りまとめをして自治会長へそして区長へそして本部へとマニュアルにより伝達されるようになっている。 ・組長が回り番にて役割についており、組長自身が高齢化にて安否確認に回れないといった問題が出てきている。	総務	A
342	羽場丸山	1	体制について。 ・まちづくり委員会が自主防災会となっている。40数名の役員となる。招集時はこの40数名にて自主防災会本部を羽場公民館につくる。各委員には役割分担がされている。一昨年は2回・昨年は1回避難所開設を行った。一昨年は3日間24時間体制にて当番制出動にて開設し非常食の提供も行った。 ・自主防災会に関することは、総務委員会が所管となっている。まちづくり委員会の活動と兼務は大変にて、独立した部署があったほうが望ましいと思う。	総務	A
343	羽場丸山	1	避難支援者の把握について。 ・民生児童委員が地区内の未加入世帯の70歳以上の方々の安否確認を行うように訓練している。 ・助け合いマップはある。未加入世帯については特別な事は行っていない。	総務	A
344	羽場丸山	1	社協および民生委員が把握している助け合いマップの情報共有はできているのか。 ・民生委員が要支援者についての安否確認は行うこととなっている。	総務	A
345	羽場丸山	1	今後の取組み等について。 ・来年度に向け0ベースで見直しを行うよう計画されている。 ・被害想定について実際の被災データがないので現実味がない。 ・ふれあいマップも個人情報の関係から共有情報となっていない。 ・パーテーション等の避難所資材を土の程度準備するのが正解なのかの実数も持ち合わせがなく現実味がない。	総務	A
346	羽場丸山	1	日赤・消防団との関りについて。 ・第3分団との関係は良好にて訓練等連携はできている。また、0Bの防災士さんにも協力を得ている。 ・分団全体を自主防災会に取り込むのは難しい。協力関係は良好である。役員が2年で変わることで継続性に問題があり、消防団や消防士の0Bをお願いして自主防災会の核を作りたいと思っている。	総務	A
347	羽場丸山	2	フレイルを知っているか、聞いたことがあるか。 ・知っていたのは、14人中6人。	社文	A
348	羽場丸山	2	フレイルという言葉で、意味が伝わらと思うか。 ・高齢者には伝わらないと思う。年を重ねるごとに、新しい言葉は入ってこない。 ・他の言葉に置き換えると「介護予備群」「準要介護」。 ・介護を予防するための概念であり、介護は一般的な言葉になってきているので「介護予防」。 ・「フレイルって何ですか」という問いがあれば、「これこれです」と答えられる。そういった状況を如何に作るかが大切では。	社文	A
349	羽場丸山	2	コロナの影響も含めて、地域としての健康づくりの状況は。 ・おしゃべりや会話、人と接することが大事と思って活動している。 ・コロナで家で一人ぼっちの人など、どんどん弱くなっている。 ・退職して仕事から離れた後、みるみる衰えてしまった例が数多くある。 ・各地区でいきいきサロンなどを行い、童謡を歌ったり軽い運動をしている。が、参加者は女性ばかり。誘いに行ってもなかなかのってこない。そういった人にどうやって出てもらうかが課題。 ・本人は出たいと思っても、コロナで家族の反対があったり、家族や周囲の方への気遣いで出ないケースが見られる。	社文	A
350	羽場丸山	2	ポイントなど、インセンティブについてどう思うか。 ・アナログでない、高齢者は使えないのでは。 ・国も市もデジタル化を進めるのは必要だが、その過程において高齢者を大切にしてもらいたい。 ・これからの時代は、高齢者もデジタルを学ぶことが必要ではないか。 ・アナログからデジタルへの過渡期にある今は、アナログとデジタルの両建てが必要ではないか。	社文	A
351	羽場丸山	2	フレイルの扱いについて、議会はどのようにしていくつもりか。 →フレイル予防には、まずは社会的な繋がりが大切というデータを重視し、「健康寿命の延伸にフレイル予防が効果的である」という考え方を市民の間に広めていく必要があると考えている。ポイント制などのインセンティブは、そのための手段として効果的かどうかについても、検討を進めたい。	社文	A
352	羽場丸山	2	・議会として、フレイル予防には、各人が任意で取り組んでもらおうとしているのか、全体に半ば強制的に伝えていこうとしているのか。 →まさに今回のテーマの根幹であり、議会報告・意見交換会が終了した後、各地区の意見を集約、総括して委員会としての方向性を考えていきたい。	社文	A
353	羽場	1	・資料の中にもあるように他地区のやり方をもっと紹介してほしい。	総務	A
354	羽場丸山	3	・風越山の魅力をどのように売り出していくのか。平成27年から山桜を植えている。他におもてなしとしてブルーベリー・シイタケの栽培もしている。また会員数の減少、資金調達ができない、内外への発信が出来ていない。伊賀良・丸山・羽場地域の連携が必要であり、市が首頭取りでまとめていただきたい。	市民環境協働部 産業経済部	D
355	羽場丸山	2	・児童クラブの支援員が少ない。増員をお願いしたい。	社文	E

No.	会場	分科会	分科会での意見等	担当委員会	取扱区分
356	羽場丸山	2	・支え合いマップを毎年更新して、自治会の先立つ人に配布してくれているが、できるだけ早い段階で渡してもらえると、なお有り難い。	社文	E
357	羽場丸山	2	・支え合いマップに関する問題の根源は組合未加入、市でも積極的に進めてもらいたい。	社文	E
358	羽場丸山	3	・人口減少で子供が少ないことをどうするか、世帯の構成も変わり空き家の増加傾向にある。	産建	E
359	羽場丸山	3	・猿庫の泉にバスが入れない。羽場まちづくり委員会と連携をとって、観光戦略として更に猿庫の泉を活かす取り組みをしてほしい。	産建	E